



高文連

第20号

山口県高等学校文化連盟

高文遠

第 20 号

もくじ

ごあいさつ	1
山口県高等学校文化連盟各部門の報告	2
第30回山口県高等学校総合文化祭の記録	
総合開会式	15
[音楽関係 4 部門]	
器楽・管弦楽部門	19
合唱部門	20
吹奏楽部門	21
マーチングバンド・バトントワリング部門	22
日本音楽・吟詠部門	23
展示 3 部門（美術・工芸、書道、写真）	24
囲碁部門	29
演劇部門	30
放送部門	31
将棋部門	32
文芸部門	33
第32回全国高等学校総合文化祭の記録	34
器楽・管弦楽部門	36
合唱部門	37
吹奏楽部門	38
マーチングバンド・バトントワリング部門	39
日本音楽部門	40
美術・工芸部門	41
書道部門	42
写真部門	43
囲碁部門	44
放送部門	45
将棋部門	46
文芸部門	47
自主事業	48

参考資料

平成20年度山口県高等学校文化連盟<事業報告・会計決算書>	52
平成21年度山口県高等学校文化連盟<事業計画・会計予算書>	54
山口県高等学校文化連盟規約・諸規程・表彰規程（会計、事務局、旅費支給基準、調整基金細則）	56
平成20・21年度山口県高等学校文化連盟役員一覧	61
全国高文連の歌	63

ごあいさつ



山口県高等学校文化連盟
会長 八幡 フミエ

高校生の芸術・文化の祭典である第30回山口県高等学校総合文化祭は、「風よかけ巡れ 海の彼方へ 君の思い乗せて」のテーマのもと、平成20年6月12日、下関市民会館において開催された総合開会式で幕を開けました。県内各地において、各部門の発表大会が多くの高校生や地域の方々の参加を得て盛大に催され、素晴らしい成果をあげることができました。

また、群馬県で開催された第32回全国高等学校総合文化祭には、本県から延べ39校、327名が参加しました。群馬県の高校生の温かい歓迎と高校生が主体となった運営が行われる中、本県の参加者は日頃の精進によって培われた力を各部門で遺憾なく発揮してくれました。囲碁部門団体戦において、山口県チーム（男子2名：山口中央高等学校、下関工業高等学校、女子1名：周防大島高等学校）が優勝し文部科学大臣賞を受賞、また、放送のオーディオピクチャー部門では、宇部高等学校の作品が最高の賞である優秀賞を受賞するという快挙を成し遂げ、本県の文化活動のレベルの高さを全国に示してくれたことを大変嬉しく思っております。

その他、山口県高等学校文化連盟では高校生が優れた文化や芸術に触れあう機会を作り、感性を高め育むことを目的に、自主文化事業を企画しております。今年度は音楽や演劇など11公演を県内各校で開催し、好評のうちに終了することができました。

これらの県内外で繰り広げられた大会や公演等に参加した感性豊かな高校生にとって、創造・感動・喜び、そして交流の輪の広がりなど、青春時代のかけがえのない財産が得られたものと思います。

平成18年に「国民文化祭やまぐち」が開催されたのを契機に、県文化芸術振興条例が制定され、本県では文化芸術振興の気運が高まってきています。とりわけ次代を担う若い生徒たちへの期待は大きく、高校生の芸術文化活動を支える組織として、県高文連の果たす役割には大きいものがあり、今後ますますの躍進が期待されています。今年度は総合開会式や発表大会の中で、活動の幅を広げた様々な取組を行ったり、山口県中学校文化連盟と連携した活動をスタートさせたりするなど、新たな試みにもチャレンジしました。これらの活動を来年度に繋げ、高文連のさらなる充実に努めていきたいと考えておりますので、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

終わりに、この一年間、終始温かいご指導を賜りました県教育委員会をはじめ、県高文連の諸活動にご支援・ご協力をいただきました関係各位に心から感謝し、厚くお礼申し上げまして、発刊のごあいさつといたします。

山口県高等学校文化連盟<各部門の報告>

器楽・管弦楽部門

理事長 飯田幸生
(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

1. 平成20年度第30回山口県高等学校総合文化祭総合開会式において慶祝演奏として合唱部門との合同演奏

* 6月12日（木）

* 曲目「大地讃頌」

「ハレルヤ・コーラス」

「翼をください」

* 指揮／吉永 暁子

* 参加出演／器楽・管弦楽部門 106名

2. 平成20年度第30回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

* 6月13日（金）、14日（土）

* 参加各校による弦楽・ギター・マンドリン・

管弦楽の演奏

* 参加出演／7校 319名

3. 第32回全国総合文化祭

* 8月9日（土）・8月10日（日）

* 群馬県民会館

* 山口県立熊毛南高等学校が県代表として参加

* モーツァルト作曲 ディベルティメント K.138を演奏

4. 平成20年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

* 12月8日（月）

下関南高等学校会議室
部会長以下出席者 8名

* 第28回器楽・管弦楽スプリングコンサート
(防府大会)、県総文、全総文、高文連表彰、
役員改選などについて協議

5. 第28回器楽・管弦楽スプリングコンサート

* 平成21年3月27日（木）防府市アスピラ

ト

* 参加7校によるギター・マンドリン、管弦
楽などの演奏

今年度の全国総合文化祭群馬大会では、本県代表の熊毛南高等学校が素晴らしい演奏を披露いたしました。本県の器楽・管弦楽部門のレベルは全国的にみても、非常に高いものだと思います。次年度以降もますます、発展していくことを確信しています。

▼第30回山口県高等学校総合文化祭総合開会式



合唱部門

理事長 三好五郎
(宇部中央高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟、合唱部門に関して行われた今年度の行事を報告いたします。

1. 山口県高等学校合唱講習会（開幕式典に備えての講習会）

- ・平成20年5月25日（日）
 - ・講師／信長 貴富先生（作曲家）
 - ・内容／信長先生作曲及び編曲の作品のレッスン
 - ・曲目／・寺内修司の詩による6つの歌
「思い出すために」より種子
作曲 信長 貴富
・世界に一つだけの花
編曲 信長 貴富
 - ・場所／ときわ湖水ホール
 - ・参加者／8校 159名
- 今年度は作曲者が作品に込めるメッセージを、実際の演奏でどのようにすればよいか？を作曲者のレッスンを通して学ぶことが出来た。午後からの約3時間という非常に短い時間ではあったが滅多に体験することが出来ない貴重な講習会になった。信長先生の気さくな人柄から繰り出されるレッスンの展開は本当に勉強になった。
- ### 2. 平成20年度 第30回山口県高等学校総合文化祭開幕式典においての慶祝演奏



- ・平成20年6月12日（木）
- ・山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
- ・指揮 長府高校教諭 吉永 晓子
- ・曲目／「オラトリオ《メサイア》より
「ハレルヤ・コーラス」」「カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」」
「翼を下さい」
- ・山口県高等学校合唱団／8校（156名）
今年は、昨年と同様オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」、カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」を演奏した。昨年度調を原調に移した「大地讃頌」はすっかり定着したようでのびのびした声で演奏していた。最後に会場の人と一緒に歌った「翼を下さい」ではホールの熱気が最高潮に達し、感動のうちに幕を閉じた。
- 3. 平成20年度 第30回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会
 - ・平成20年6月13日（金）14日（土）
 - ・下関市民会館
 - ・合唱単独出演校／5校（中村女子・野田学園・防府・萩・宇部フロンティア大学附属香川）
 - ・その他 山口県合同合唱団（山口中央・宇部中央・萩光塩・防府・野田・萩・中村女子・宇部フロンティア大学附属香川）165名
- 4. 第32回全国高等学校総合文化祭
 - ・平成20年8月10日（日）
 - ・群馬音楽センター
 - ・山口県代表／県立萩高等学校合唱部53名
 - ・曲目／「雨」 作曲 多田武彦
混声合唱のための「どちりなきりしたん」より IV 作曲 千原英喜
- 5. 平成20年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会
 - ・平成20年12月8日（月）
 - ・山口県立宇部中央高等学校会議室
 - ・出席者／部会長以下7名
 - ・議題／県総文、全総文、20年度会計報告、高文連表彰
21年度事業予定などについて

吹奏楽部門

理事長 角中 悅太郎
(防府高等学校教諭)



平成20年度山口県高等学校文化連盟吹奏楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 県総文総合開会式

総合開会式は、「風よかけ巡れ 海の彼方へ 君の思い乗せて」というテーマのもと、長府高等学校主管で平成20年6月12日（木）下関市民会館で盛大に開催されました。吹奏楽部門は下関地区高等学校合同吹奏楽団を編成し、下関商業高校・中村淳一先生の指揮の下、式典並びに慶祝演奏に参加しました。

2. 県総文音楽4部門発表会・連合音楽会

総合開会式の翌日13日（金）、14日（土）の2日間、音楽4部門発表会・連合音楽会が同じく下関市民会館で開催されました。吹奏楽部門には50校1,833名の生徒が参加し、各校の編成や特徴を活かした演奏を披露してくれました。

3. 全総文群馬大会

全総文群馬大会の吹奏楽部門は8月7日（木）～8日（金）の2日間高崎市・群馬音楽センターで開催され、山口県代表として豊浦高等学校吹奏楽部（織田浩司先生指揮）が出場しました。本県代表として元気いっぱい

素晴らしい演奏をされ、大喝采を浴びました。折しも秋篠宮御一家のご来場と重なり、印象的なステージとなりました。

4. 高文連吹奏楽部会総会

本年度吹奏楽部会総会を12月3日（水）防府高校で開催しました。県下30名の吹奏楽指導担当者が出席し（他に委任状24名）、本年度事業報告や来年度事業計画、県総文の開催日程、全総文三重大会への参加校や表彰者の推薦等多くの協議事項に対して活発な意見交換がなされました。

5. 高文連吹奏楽部会研修会

今年度の研修会は、新しい試みとして吹奏楽コンサートの鑑賞を企画しました。コンサートにマーチングに全国的に活躍されている精華女子高等学校・吹奏楽部の周南市文化会館での公演を見学。その見事なステージから大いに刺激を受け、まさに生きた研修となりました。ちなみに、指導者の藤重佳久先生にはこれまで研修会の講師としてご講演をお願いした経緯があり、本県にとってもおなじみの指導者でいらっしゃいます。

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 繩田道孝
(山口県鴻城高等学校教諭)

平成20年度山口県高等学校文化連盟マーチングバンド・バトントワリング部門の活動状況を報告いたします。

1. 第30回山口県高等学校総合文化祭総合開会式

平成20年6月12日（木）テーマ「風よかけ巡れ 海の彼方へ 君の思い乗せて」

下関市民会館にて開催されました。慶祝演奏では、演劇・日本音楽部門の次に、山口県鴻城高等学校吹奏楽部によりステージドリルが披露されました。

曲目『カーンイービル9』『ランド オブ メイク ビリーブ』

2. 第30回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

総合開会式の翌日、13日（金）・14日（土）の2日間、同じく下関市民会館にて開催されました。本部門は、14日（土）に誠英高等学

校・慶進高等学校の2校が参加しました。

誠英高等学校（16名）JOYFUL joyful
慶進高等学校（25名）Everything Back
But you

3. 第32回全国高等学校総合文化祭・群馬大会
平成20年8月6日（水）前橋市街地にてペレード、8月8日（金）群馬県総合スポーツセンターぐんまアリーナにてマーチングバンド・バトントワリング部門発表会が開催され、山口県代表として山口県鴻城高等学校及び慶進高等学校・誠英高等学校の合同チームが参加しました。

4. 部門研修

平成20年度 マーチングバンド講習会 3月14日（土）山口県鴻城高等学校にて（9:00～17:00）山口県吹奏楽連盟と合同主催で実施。



日本音楽部門

理事長 橋口三恵子
(誠英高等学校教諭)



平成20年度山口県高文連日本音楽部門の活動報告をいたします。

1. 第30回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式 慶祝演奏

6月12日（木）下関市民館において、早鞆高等学校平家太鼓部が、『七福神 柱万歳』を慶祝演奏しました。会場は、エネルギー溢れる轟音に包まれました。一心不乱に太鼓を打ち鳴らす姿は見ていて、すがすがしく、また太鼓の音とお囃子の音色、歌声が、心にしみこんできました。伝統芸能ながらも若者らしい新たな文化創造を感じました。

2. 第30回山口県高等学校総合文化祭

日本音楽・吟詠部門発表会

6月14日（土）山口県立大嶺高等学校主管で美祢市民会館にて開催されました。箏曲10校、吟詠1校、和太鼓2校、長唄三味線1校、能楽1校、101名の生徒達が日頃の活動の成果を披露しました。バラエティに富んだプログラムを見て、聞いて、飽きません。日本の伝統文化である和太鼓や琴や三味線や謡などを通して、大切な日本人の心や礼儀を継承しようと若者達が頑張っていることに、感動し、心癒されました。

国際化が進展する今、多くの若者にもっと日本の伝統や文化を尊重してほしいと心から思います。

3. 第32回全国高等学校総合文化祭

群馬大会

8月8日（金）～8月9日（土）に太田市新田文化会館で開催された大会には、山口県立大嶺高等学校が県代表として参加し、「春の予感」を演奏しました。全国から57校が、自動車工業を中心とする工業都市であり、また南北町の武将であった新田義貞ゆかりの町、太田市の会場で熱い演奏を競いました。歴史と現在が息づいたこの町に、優雅でもあり、力強くもあり、繊細でもある音色が響き渡り、みなそれぞれに感動的なものでした。

全国のレベルの高さに驚き、そして各県から選ばれた代表校それぞれが、伝統文化を表現する工夫や努力が素晴らしいことを再認識しました。県によっては一県から3校も参加があるなど、県の取り組み方やレベルに格差があるのも事実です。

暑い夏に、多くの感動と収穫を得ることができました。



美術・工芸部門

理事長 宮崎龍次
(下関商業高等学校教諭)

平成20年度美術・工芸部門の主な活動について報告いたします。

1. 県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝展示

下関市民館展示ホールにて慶祝展示を行いました。下関地区各校から作品を出品していただき、総合開会式に華をそえました。

2. 全国高等学校総合文化祭〈群馬大会〉

作品展示は8月6日から8月10日まで、群馬県立近代美術館で行われました。全国から372点の出品がありました。いずれもレベルの高い作品で見えたる展示となりました。その中にあって、本県から出品された平面作品5点、立体作品1点は、それぞれの個性の光を十分放っていたように思います。

昨年の島根大会から立体デザインや、絵画と立体を融合させた作品が見受けられましたが、安易にこの手法に走り、全国への出品が目的ともとれる、必然性の窺えない作品があったのは残念です。幸い本県からはこうした作品がなかったものの、指導する側もモラルが問われることを実感しました。

反面映像は今年も少なく、映像表現の浸透にはまだまだ時間がかかる気がします。ともあれ、全体のレベルは年を追って上がっていく印象を受けました。

さて、諸行事ですが、開会式や講演会は、展示会場とは別の、群馬県立女子大学講堂で行われました。講演会は多摩美術大学教授でデザイナーの佐藤晃一氏がデザインに限らず幅広い芸術の分野にわたるお話しをしてくださいり、高校生からも質問が多数出て、活発な質疑応答でした。残念ながら講評はいただけませんでした。

交流会は皇室の参観の都合で、午後行われました。炎天下の中の作業は、かなり厳しいかと思われましたが、生徒のみなさんは頑張っ

て制作に励んでいました。ダンボールで子供が実際に通れるアーチを作ろうという内容でした。

晴天に恵まれた群馬大会でしたが、いくつか問題点も見えました。会場までの交通手段の確保がそのひとつです。会場となった群馬県立近代美術館も群馬県立女子大学も、どちらも公共交通機関では往復できず、シャトルバスが用意されていましたが、輸送量をはるかに上回る来客で、炎天下のバス停で生徒が30分以上も立って待っている状態でした。

また、皇室のご閲覧はたいへん名誉で有難いことなのですが、交流会の時間がはっきりせず、開催直前まで揉めていた理由が皇室の予定との調整だったそうで、生徒のための大会であるはずが、疑問に感じました。

3. 県総合文化祭展示部門

別欄に掲載していますのでそちらをご覧ください。

4. 美術・工芸部連絡協議会

今年の連絡協議会は、9月26日に下関商業高等学校で行いました。場所が下関ということも影響してか、やや少ない参加でしたが、美術専門でない部顧問も参加され、充実した協議会でした。豊浦高等学校の田中先生に、研究発表をしていただきました。



書道部門

理事長 古屋 美智子
(長府高等学校教諭)

平成20年度山口県高文連書道部門の主な活動について報告いたします。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式

今年度は、長府高等学校主管で、各部門の紹介がスライド形式で行われました。書道部門においても、生徒研修会の様子などを写真により、説明しました。また、広い展示室では、地元の生徒の個性あふれる作品とともに、共同作品のパネル6枚からなる大作「風信帖」はひときわ目立ち、多くの方が足を止めて鑑賞していました。

2. 第10回高文連書道部会生徒研修会

9月27日(土)から1泊2日で、山口県セミナーパークを研修会場として、一字大書創作・臨書共同作品『蘭亭序』の制作、県総合文化祭出品作品の練習に取り組みました。生徒27名、顧問7名の参加でした。

初めての長時間にわたる研修で、生徒たちの集中力や体力が心配されましたが、1日の夜は9時までかかり、なんとか『蘭亭序』の共同作品が完成しました。特に、『蘭亭序』の臨書は、1人ずつ順番に書いていくため、大変緊張した中での清書となりました。しかも、全紙1枚を4、5人で書くので、協調を図りながらの制作です。27人の気持ちが合わさった作品は、屏風4枚に仕立てられ、県総合文化祭の会場となった下関美術館の展示室入り口を飾りました。

この研修会では、他の学校の生徒や先生と接することで、お互いに刺激を受け、新たな発見をすることができます。そして、明日からのそれぞれの学校での部活動に活かしていくことを期待します。



3. 全国高等学校総合文化祭〈群馬大会〉

書道部門の作品は、「上州に舞え創造の風」というスローガンに出迎えられた33階建ての近代的な群馬県庁県民ホールと、隣接する昭和庁舎と呼ばれる国の登録文化財にも指定されている洋風の建物に分かれて展示されました。昭和庁舎の方には、九州・沖縄の作品と地元の高校生による萩原朔太郎(前橋市出身)など群馬出身の詩人の言葉を題材とした漢字仮名交じりの書が学校ごとに展示されていました。

山口県からは、岩国、山口、下関中等教育、下関商業の4校が代表としてそれぞれ隸書、行書、仮名、楷書の作品を出品しました。漢字作品はいずれも全国大会に合わせて2×8尺の画仙紙にそれぞれの古典の特徴を存分に發揮した堂々とした作品に仕上げてありました。また、清書に10時間もかかったという仮名作品は緊張感を保ちながら最後まで丁寧に粘り強く書いていました。いずれも見応えのある作品でしたが、残念ながら入賞はかないませんでした。

交流会では、高さ17センチの「高崎だるま」にひげや目を入れ、あらかじめ準備していた自分の好きな言葉をだるまの背中部分に書き入れたり、同じ班員に名前や一言入れてもらうなど、交流を深めながらオリジナリティあふれるだるまが完成しました。

生徒は全国の生徒と触れ合い、作品を鑑賞することで、そのレベルに驚くと同時にさらなる技術の向上を求め、努力を誓ったことだと思います。

写真部門

理 事 長 佃 幸 憲
(光高等学校教諭)

平成20年度の山口県高文連写真部門の活動状況についてご報告致します。

1. 平成20年度 第30回 山口県高等学校総合文化祭 総合開会式での慶祝展示

今年度は、6月12日（木）から14日（土）まで、音楽4部門を中心に下関市民会館において、総合開会式および発表会が開催されました。写真部門では例年この期間中、前年度の県総文展示部門の選考にて優秀作品に選ばれたもの（群馬大会に出品）を、期間中に慶祝展示しています。

今年度は以下の5点の展示となりました。（すべて、全紙サイズ・モノクロ・単写真）

下松工業高等学校 3年 岡村 和典 作
「大きくなったね」

下松工業高等学校 3年 河島 龍興 作
「ナイスキャッチ」

（この作品は、群馬大会にて、奨励賞を受賞）

新南陽高等学校 3年 藤井 祐里 作
「演劇稽古」

宇部高等学校 3年 沖原 徹 作
「青春の1ページ」

下関西高等学校 2年 徳永 五月 作
「仲良し」

加えて、下関地区の高校の作品も展示されました。

出展にご協力頂いた顧問ならびに生徒の皆さんに感謝致します。

2. 平成20年度 第32回 全国高等学校 総合文化祭（群馬大会）写真部門

8月6日（水）から10日（日）までの5日間、群馬県高崎市にあります高崎シティーギャラリーにて、全国からの優秀作品が展示されました。全国優秀上位3点には、長野・岐阜・富山県の作品が選ばれました。特に、最優秀賞を受けた長野県伊那北高等学校の生徒の作品は、カラー・デジタル・単写真で、群を抜いた出来栄えでした。

上位の優秀作品30点の内訳は、カラー・デジタル作品が12点、モノクロ・フィルム作品が13点、カラー・フィルム作品が5点、とい

う割合に時代の変化を感じました。

例年、審査委員の考え方方が審査結果に大きく影響するのが常ですが、今年は会場の雰囲気はカラフルで、多種多様なジャンルの作品がひしめき合っていました。

今年度、山口県の代表作品として出品した以下の作品が、全国奨励賞に選ばれたことは、明るい話題でした。

下松工業高等学校 河島 龍興 作
「ナイスキャッチ」

鳥が餌をついぱむ瞬間をとらえた作品で、イメージ作り・ロケーション・シャッタースピードの調整・仕上げなどのバランスが良質で、技術力の高さを感じます。

全般を通して、今年は例年になくデジタル作品の入選がかなり多かったようです。

来年度は、三重県伊勢市での開催です。参加される先生方・生徒の皆さん、暑い時期に開催される大会ですが、よろしくお願ひします。

3. 平成20年度 山口県高等学校総合文化祭 展示3部門（下関大会）ならびに撮影研修会

11月7日（金）から9日（日）にかけて、下関市にあります下関市立美術館にて開催されました。運営役員ならびに周辺高校の補助員生徒の皆さん、いろいろお世話になりました。

詳細については、本冊子の 第30回 山口県高総文祭の記録をご覧下さい。



囲碁部門

理事長 富山貴之
(山口高等学校教諭)

<平成20年度の主な活動>

1 全国高校総文囲碁部門

- (1) 期日：8月9日（土）・10日（日）
- (2) 場所：前橋市「群馬県生涯学習センター」
- (3) 出場者と成績：

団体戦

阿武貴裕（山口中央） 藤本裕樹（下関工業）
堀本範子（周防大島） 6勝0敗 全国優勝

個人戦

男子 河野浩和（下関西） 2勝4敗 33位
女子 中島美嬉（徳山商工） 2勝4敗 29位

2 山口県高校総文囲碁大会

→ 「第30回山口県高総文祭の記録」

3 第12回中国高等学校囲碁選手権大会

- (1) 期日：1月6日（火）、7日（水）
- (2) 場所：中国新聞ビル（広島市）
- (3) 参加者：75名
- (4) 成績：

個人戦

男子 阿武貴裕（山口中央） 5勝0敗 優勝
田中浩貴（萩） 4勝1敗 5位

女子 堀本範子（周防大島） 5勝0敗 優勝

団体戦

男子 下関西高等学校 5勝0敗 優勝
女子 防府商業高等学校 0勝5敗 5位

(5) 全国高校囲碁選抜大会への出場資格

（中国ブロック代表）

阿武貴裕：男子個人戦出場
堀本範子：女子個人戦出場
下関西高等学校：男子団体戦出場

4 囲碁研修大会

- (1) 期日：2月1日（日）
- (2) 場所：山口南総合センター
- (3) 指導碁：日本棋院プロ棋士 山本賢太郎四段

<総括>

今、山口県の高校生の囲碁レベルは極めて高く、8月に群馬で行われた全国高校総文では団体戦で山口県チームが見事優勝した。今年度のメンバー2人に新しいメンバー1人を加え、来年度は全国大会2連覇が期待される。また、1月に行われた中国大会では男子個人戦・女子個人戦・男子団体戦の3部門で山口県の選手が優勝を独占した。



（中国大会個人戦で優勝した堀本範子さんと阿武貴裕君）

演劇部門

理事長 金森健一
(下関商業高等学校教諭)



今年の演劇部門は、6月の総合文化祭開会式で部門紹介とは別に、下関地区5校の演劇部員で練習し作り上げた演劇を上演させていただきました。また、加盟校こそ昨年と同じ26校ですが、地区大会参加校は昨年の21校から24校へと増加しました。以下に演劇部門の1年間の主な活動をまとめます。

《平成20年度の主な活動》

1 第30回山口県高等学校総合文化祭開会式

期日 6月12日(木)

場所 下関市民会館

2 地区大会(4地区24校参加)

上演一覧〔出場校・上演作品・作者△創作〕

A 周防地区 8月17日(日)周南市市民会館

- ・華陵「あなたがここにいてほしい」五十嵐英実
- ・光丘「クラゲクライシス」赤嶺陽子
- ・新南陽「Letters」川木田敏晴
- ・岩国総合「Break Through」外山曜
- ・安下庄、周防大島「あなたも…ですか」高瀬邦一
- ・岩国「三月記～サンゲッキ～」亀尾佳宏

B 山防地区 8月24日(日)山口南総合センター

・防府西「かたつむり疾走」重松清

・山口中央「チェンジ・ザ・ワールド」石原哲也

・防府商業「ゲット・バック」高橋大

・西京「学校夏の陣」西京高校演劇部△

・山口県鴻城「スケッチブック」渚太陽△

C 宇部地区 8月24日(日)宇部市文化会館

・宇部西「桔梗学園生徒会選挙」フルカワイコウ

- ・サビエル 仮題「美術のび」 東佑実子△
- ・宇部フロンティア大学附属香川「絆」 嘉藤圭祐

- ・宇部「お葬式」 龟尾佳宏
- ・宇部中央「生まれ出する空気(エーー)」 宇部中央高校演劇部△

D 下関地区 8月7日(木)・8日(金)

下関市民会館

- ・下関工業「六畳一間の夕暮れ～A take of cat and man～」 大野博貴
- ・田部「また夏がきて」 洲浜昌三
- ・下関中等教育「たまべん」 柳雅之
- ・梅光女学院「戦の夏の夢－夏野夢子の冒險」 北野茨
- ・下関西「次こそ幸せに」 田中茉莉奈△
- ・長府「武道館の前で」 石原哲也
- ・下関商業「みんなの歌」 内藤裕敬
- ・下関南「ぼっくりさん」 亀尾佳宏

E 地区大会に残念ながら参加できなかった加盟校

・山口高校・中村女子高校(ともに山防地区)

- ・内容 午前 トレーニング法の実際
- 午後 脚本の読み取り方と演技の実際

4 第30回山口県高等学校総合文化祭

演劇部門 第27回山口県高等学校演劇大会

期日 10月25日(土)～26日(日)

(リハーサル23日～24日)

会場 下関市民会館

5 その他の活動

※宇部地区 練習発表会

期日 12月27日(土)9:00～13:00

会場 サビエル高校

参加校 宇部 宇部中央

サビエル 香川

※周防地区 演劇新人大会

期日 2月1日(土)9:00～17:00

参加予定校 周防地区6校

※下関地区 第16回下関地区高等学校

演劇連盟合同公演

期日 3月25日(水)

会場 下関市民会館

参加校 下関市内7校(45人)

上演作品 『やっぱりパパイヤ』阿部順

3 演劇講習会

期日 9月21日(日)10時～15時

会場 宇部フロンティア大学附属香川高等学校

講師 内藤裕敬・三浦隆志(南河内万歳一座)

参加校・人数 12校94名

放送部門

理事長 吉川佳子
(山口高等学校教諭)

1 第32回全国高等学校総合文化祭（群馬大会）

8月9日（土）10日（日）

伊勢崎市文化会館

アナウンス部門

山口県立山口農業高等学校

奥村 文綾 「狐の嫁入り行列」

山口県立徳山高等学校

戸崎安由美 「証城寺の狸ばやし」

山口県立宇部高等学校

竹内 早紀 「みすゞ コスモス」

朗読部門

山口県立光高等学校

窪田美穂子 「苺の葉」(伊集院静)

山口県立熊毛南高等学校

石原 純香 「くちぶえ番長」(重松 清)

山口県立山口高等学校

山本有希子 「くちぶえ番長」(重松 清)

オーディオピクチャー部門

山口県立宇部高等学校「レクイエム」

ビデオメッセージ部門

山口県立徳山高等学校

「Pちゃんが行く！～笑顔のネットワーク～」

※オーディオピクチャー部門で宇部高校が最高賞の優秀賞を受賞

2 第30回山口県高等学校総合文化祭第15回放送部大会

11月8日（土）

ニューメディアプラザ山口（山口市）

3 研修会

3月28日（土）に山口高校で6月のN H K杯全国高校放送コンテスト山口県大会に発表する予定の作品のプチ発表会を開催する予定。意見、感想を交換してさらによい作品に仕上げて山口県全体のレベルアップを図る。残念ながらN H K杯全国高校放送コンテストで健闘しているのは目下岩国高校の番組のみ。昨年も3月の終わりに実施し、カタチにして発表できたところは少ないが、一番完成度の高かった岩国高校は県大会、全国大会とさらにパワーアップした作品にすることができた。



将棋部門

理事長 弘中 敏之
(徳山高等学校教諭)

本年度より、当専門部の事務局が防府高等学校から徳山高等学校に移りました。そのこともあり運営が心配されましたが、会長を中心に以下の3つの事業を無事成功裡に終えることができました。

1. 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式の慶祝展示

長府高校および下関西高校、下関中央工業高校担当のもと、6月12日（木）から14日（土）にかけて下関市民会館を会場に開催された総合開会式において部門大会の様子を収めたパネル写真2点が展示されました。会場の設営に携わっていただいた長府高校の諸先生方や生徒の皆さんに大変感謝しています。

2. 第30回山口県高等学校総合文化祭

将棋部門大会 兼

第44回全国高等学校将棋選手権大会県予選

徳山高校主管のもと、5月24日（土）から25日（日）にかけて防府市文化福祉会館で開催されました。

初日は男子団体戦に延べ20校から65名、二日目は男女個人戦に9校70名が参加し各種目で熱戦が展開されました。二日制となって5年を迎えた感のある大会となりました。

また、日本将棋連盟山口支部の方々の熱心な指導対局や交流対局も行われ盛況のうちに終えることができました。

3. 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会

徳山高校担当により、11月2日（日）に防府市文化福祉会館で行われました。理事の諸先生を中心とした大会運営の研修と、7校から男女56名の棋力向上を図る内容でした。

指導対局については、田中佳久現日本将棋連盟奨励会二段、北村公一アマ六段（現山口県名人）の熱心なご協力をいただきました。

研修対局の結果は、男子では下関西高校が上位を独占し、女子では防府高校の活躍が目立ちました。なお、来年度には本県で全国高等学校文化連盟将棋新人大会が開催されます。さらなるご理解とご協力をお願いします。



文芸部門

理事長 國嶋洋治
(徳山商工高等学校教諭)

今年度の文芸部門の活動状況を報告します。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

文芸部門は、第6回文芸コンクール入賞者が自身の受賞作のイメージを絵画等に描き、額装にしたものと16作品展示しました。あわせて県内の各高校の文芸誌及びコンクール作品集を展示しました。

2. 全国高等学校総合文化祭群馬大会

8月6日（水）から8月8日（金）の3日間、群馬県渋川市を会場として、全国総文祭文芸部門大会が開催されました。山口県からは、柳井商工3名、下関南高校2名の計5名が参加しました。大変有意義な大会でした。

3. 第6回文芸コンクール

今年度の県コンクールには13校87作品の応募があり、この中から各部門最優秀4作品、

学校特別優秀賞4校、入選9作品を選びました。

1・2年生のみの応募でしたが（全国総文に推薦のため）力作ぞろいで内容の濃い作品集になったと思います。

来年度開催予定の全国総文（三重大会）に2校ならびに中国ブロック大会（広島大会）に2校推薦しました。

4. 第10回高校生文芸道場中国ブロック大会（鳥取大会）

11月15日（土）文芸道場中国ブロック大会が、鳥取市で開催され、全体の出席数は少ないながらも、手馴れた感で大会運営をこなしていました。生徒の盛り上がりは大変ありました。大会にあわせて行われた作品コンクールには山口県から文芸誌部門で西京高校が最優秀賞、山口高校が入賞、散文部門に柳井商工高校が最優秀・入選、萩高校が入選に選ばれるなど優秀な成績をあげ、柳井商工・西京高校が全国大会に推薦されました。山口県の作品も今後大いに期待できます。

なお来年度は広島県の引き受けとなり文芸専門部一同優秀な作品が入賞し全国総合文芸道場に推薦されることを願っております。



第30回 山口県高等学校総合文化祭の記録

総合開会式

会場：下関市民会館

主管校 吉永暁子
(長府高等学校教諭)



第30回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、第2回山口県総合芸術文化祭の協賛事業として「風よかけ巡れ 海の彼方へ 君の思い乗せて」のテーマのもと、平成20年6月12日(木)に下関市民会館で盛大に開催されました。

今年度は主管校、長府高校を中心に下関地区の各高等学校が協力にあたりました。

式典では長府高等学校の金子 紗緒里さんによる開会宣言、下関地区高等学校合同吹奏楽団がファンファーレを演奏して今年も開幕。続いて、八幡 フミエ山口県高等学校文化連盟会長、藤井 俊彦山口県教育委員会教育長、永富 志帆山口県立長府高等学校生徒代表のあいさつがありました。最後に江島 潔下関市長の歓迎のことばをいただきました。

次に、山口県高等学校文化連盟より、功績賞、優秀芸術文化賞、テーマ最優秀賞の表彰がありました。

「功績賞」は、長年、各分野でご指導されて、多大な功績を残された先生が受賞されます。
矢田部一俊先生（元山口県立防府高等学校教諭）
村岡 圭吾先生（山口県鴻城高等学校教諭）
有富 由美先生（山口県立山口高等学校教諭）
角中悦太郎先生（山口県立防府高等学校教諭）の四名が受賞されました。

「優秀芸術文化賞」は、全国高等学校総合文化祭放送アナウンス部門で優秀賞に輝いた藤本美智子さん（山口県立徳山高等学校）と第2回全国高校囲碁選抜大会で女子個人選手権戦で優勝に輝いた囲碁部門 堀本範子さん（山口県立周防大島高等学校）の二名が受賞されました。

また、今年度の高等学校総合文化祭のテーマに選ばれた中村理絵さん（山口県立下関南高等学校）には「テーマ最優秀賞」が授与されました。続いて、各部門紹介をスライドに映しながら紹介しました。



〔日本音楽：早鞆高等学校平家太鼓部による演奏〕
『七福神 柱万歳』



〔マーチングバンド：山口県鴻城高等学校吹奏樂部による演奏〕
『カーンイービル9』『ランド オブ メイク ビリーブ』
〈指揮〉内田 良一（山口県鴻城高等学校）



〔吹奏楽：下関地区高等学校合同吹奏樂団による演奏〕
『組曲「ミシッピ」より マルディ・グラ』
〈指揮〉中村 淳一（下関商業高等学校）



〔下関地区高等学校演劇連盟による上演〕
『演劇とはなにか』



〔合唱、器楽・管弦楽：山口県高等学校合唱団及び山口県高等学校管弦樂団による演奏〕
“カンタータ《土の歌》”より『大地讃頌』 “オラトリオ《メサイア》より” 『ハレルヤ・コーラス』
〈指揮〉吉永 晓子（長府高等学校）



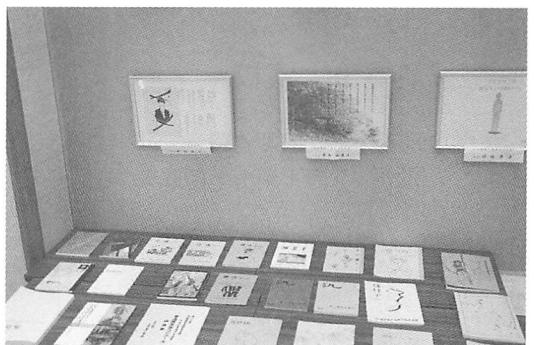
[会長あいさつ]



福田博子(長府高校)さんのイラスト
を基にしたポスター



[各部門紹介]



「慶祝展示」



◎慶祝演奏・上演

- ◇ [演劇]『演劇とはなにか』
【演技】下関地区高等学校演劇連盟
- ◇ [日本音楽]『七福神 柱万歳』
【演奏】早鞆高等学校平家太鼓部
- ◇ [マーチングバンド]
『カーンイービル9』
『ランド オブ メイク ビリーブ』
【演奏】山口県鴻城高等学校吹奏楽部
(指揮) 内田 良一(山口県鴻城高等学校)
- ◇ [吹奏楽]組曲「ミシシッピ」より
『マルディ・グラ』
【演奏】下関地区高等学校合同吹奏楽団
(指揮) 中村 淳一(下関商業高等学校)
- ◇ [合唱、器楽・管弦楽]
“カンタータ《土の歌》”より
『大地讃頌』
“オラトリオ《メサイア》”より
『ハallelヤ・コーラス』
【演奏】山口県高等学校合唱団
山口県高等学校管弦楽団
(指揮) 吉永 晓子(長府高等学校)
- ◇ [全員合唱] “翼をください”
【演奏】山口県高等学校合唱団
山口県高等学校管弦楽団
(指揮) 吉永 晓子(長府高等学校)
- ◇ [放送]幕間出演および進行アナウンス
山口県立長府高等学校

◎慶祝演奏・上演校

- [下関地区高等学校演劇連盟]
長府 下関南 下関工業 下関商業
.....各高等学校
- 下関中等教育学校
[日本音楽]
早鞆高等学校
[マーチングバンド]
山口県鴻城高等学校
[下関地区高等学校合同吹奏楽団]
西市 豊浦 長府 下関西 下関工業 下関商業 早鞆各高等学校
[山口県高等学校合唱団]
岩国 防府 山口中央 宇部中央 萩 野田学園 萩光塩学院 宇部フロンティア大学附属香川各高等学校
[山口県高等学校管弦楽団]
柳井 防府 山口中央 下関南
.....各高等学校
- 下関中等教育学校

◎慶祝展示《下関市民館 展示室》

- ◇ [美術・工芸]
下関地区各高等学校 下関中等教育学校
- ◇ [書道]
下関地区各高等学校 下関中等教育学校
- ◇ [写真]
下松工業 新南陽 宇部 下関西
.....各高等学校
- ◇ [囲碁]
大会風景
- ◇ [将棋]
下関西 下関中央工業
.....各高等学校
- ◇ [演劇]
長府 防府西 華陵
.....各高等学校
- ◇ [文芸]
下関南 柳井商工 徳山 山口
.....各高等学校

◎山口県高等学校文化連盟表彰者

- [功績賞]
矢田部一俊…長年にわたり吹奏楽の指導に携わり、本連盟の発展と本県高校文化活動の充実に多大な功績を残した。
- 村岡 圭吾…平成13年度より7年間にわたり、演劇部門理事長として本連盟の発展と本県高校文化活動の充実に多大な功績を残した。
- 有富 由美…平成13年度より7年間にわたり、書道部門の理事長として本連盟の発展と本県高校文化活動の充実に多大な功績を残した。
- 角中悦太郎…平成12年度より8年間にわたり、事務局長として本連盟の発展と本県高校文化活動の充実に多大な功績を残した。
- [優秀芸術文化賞]
藤本美智子…第31回全国高等学校総合文化祭(島根大会)放送アナウンス部門 優秀賞
- 堀本 範子…第2回全国高等学校囲碁選抜大会 女子個人選手権戦 優勝 山口県メダル栄光受賞
- [テーマ最優秀賞]
中村 理絵(山口県立下関南高等学校)

第30回山口県高総文祭の記録

音楽関係 4 部門発表会

器楽・管弦楽部門

会場：下関市民会館

理事長 飯田幸生
(下関南高等学校教諭)

平成20年度第30回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月13日(金)、14日(土)の2日間にわたり下関市民会館において催されました。また、前日12日の総合開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で式典の慶祝演奏を行いました。

今年度も去年に引き続き合同オーケストラを編成し、県下4校の管弦楽部の代表たちが集い、100名を越える大編成で演奏できました。演奏曲目は去年に引き続き、ヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」から“ハallelヤ・コーラス”そして佐藤真作曲のカンタータ「土の歌」より

“大地讃頌”の2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみという厳しい状況の中、長府高等学校の吉永先生の躍動感あふれる力強い指揮のもとで、開幕式典にふさわしく莊

重で輝かしい音楽が見事に演奏されました。その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたことと思います。

さて、翌日の朝から2日間にわたって開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ4校、ギター・マンドリン合奏2校、弦楽合奏1校が参加いたしました。多数の吹奏楽部門の参加校に混じって、その演奏は一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校とともに弦楽器の艶やかで柔らかい音色を備えた立派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。

次回の萩大会ではさらに練習に励み、研鑽を積んだ成果を十分に発揮されることを期待しています。



合唱部門

会場：下関市民会館

理事長 三好五郎
(宇部中央高等学校教諭)

平成20年度第30回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月12日（木）「下関市民会館」で盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門との合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラとの大合唱（野田、宇部フロンティア大学付属香川、山口中央、宇部中央、萩、萩光塩、岩国、防府の8校）計156名の歌声はホール一杯に美しく響き渡り、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたこと思います。演奏曲目は例年通り「ハallelヤコラス」と「大地讃頌」。フィナーレで会場のみなさんとの「翼をください」でした。大地讃頌は、昨年から変えた原調での演奏がすっかり定着しました。

参加校の中で多くの学校が、日頃小人数の活動ですが、こうしたオーケストラとの大合唱は毎年のことながら感動的です。生徒はとても貴重な体験をすることができたと思います。

また音楽部門4部門の発表では、今年度5月25日（日）にときわ湖水ホールで行った合唱講習会（作曲家自らによる信長貴富氏のレッスン）で指導していた「種」と氏が編曲した「世界につつだけの花」を山口県合同合唱団として発表しました。最近単独校での発表が減ってきている中、県内の合唱部員で作曲家直々にレッスンしていただいた作品を発表できたこ

とは大変良かった。

単独での発表は萩・野田学園・防府・中村女子・宇部フロンティア大学付属香川高等学校が出演した。どの団体の演奏もよく工夫されたプログラムで、美しく柔らかに歌声が響き渡り、個性あふれる演奏でした。

問題点としては、この所合唱部員が少なくなり参加校が減少しています。そのため地域や学校格差が広がっています。生徒数の減少や指導者不足が影響していると思いますが、もっと積極的に一人でも多くの合唱仲間を増やしていきたいものです。

「吹奏楽」もいいけど是非合唱も取り入れて合唱に参加してくださるよう各校にお願いいたします。

来年度は、"萩市民会館"で開催されます。また次回もすばらしい演奏を期待します。



吹奏楽部門

会場：下関市民会館

理事長 角中 悅太郎
(防府高等学校教諭)

平成20年度第30回山口県高等学校総合文化祭
総合開会式は、6月12日（木）下関市民会館で
開催されました。吹奏楽部門では例年どおり開
幕式典に下関地区高等学校合同吹奏楽団（西市
豊浦 長府 下関西 下関工業 下関商業 早
鞆、各高等学校）を編成し、輝かしいファンファーレの演奏で開幕しました。慶祝演奏では下関商業高校の中村淳一先生の指揮で、組曲「ミンシッピ」より『マルディグラ』を華やかに演奏していただきました。

音楽4部門発表会は翌13日（金）と14日（土）
の2日間にわたって開催されました。吹奏楽部
門には50校1,833名の生徒が参加し、各校の編成

や特徴を活かした演奏を披露してくれました。
部員数の大小はありますが、各校とも高校生ら
しいさわやかで立派なステージでした。一日目
の最後は下関南高校（飯田幸生先生指揮）の演
奏で、二日目の最後は長府高校（吉永暁子先生
指揮）の演奏で「翼をください」を全員合唱し、
盛会裏に発表会を終えることができました。高
校生らしくきびきびとした態度で運営にあたっ
てくださった長府高校をはじめ下関地区の生徒
の皆さん、それから指導・運営にあたってくだ
さった先生方に心よりお礼申し上げます。平成
21年度は萩市民館で開催されます。素敵な発表
会になるよう期待しています。



マーチング・バトントワリング部門

会場：下関市民会館

理事長 繩田道孝
(山口県鴻城高等学校教諭)

第30回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式が、平成20年6月12日（木）『風よ　かけ巡れ　海の彼方へ　君の思い乗せて』というテーマのもと、山口県立長府高等学校主管で下関市民会館にて盛大に開催されました。慶祝演奏では、山口県鴻城高等学校吹奏楽部によりステージドリルが披露されました。『カーンイービル9』『ランド　オブ　メイク　ビリーブ』の2曲で構成されたステージドリルは、観客を魅了しました。特にマーチング・バトントワリング部門は参加校が少ないため、このステージドリルを見て少しでもマーチングをしてみようとい

う学校が増えることを切に望みます。

続く音楽4部門発表会では、誠英高等学校・慶進高等学校の2校が参加しました。

誠英高等学校（16名）演技曲目『JOYFUL joyful』慶進高等学校（25名）『Everything Back But you』で演技し、日頃の練習の成果を発表しました。

来年度は、萩市民会館で開催されます。可能な限り、素晴らしい演奏演技が出来るよう努力したいと思います。そして、マーチング・バトントワリング人口が少しでも増えるよう感動を伝える事ができればと思います。



日本音楽・吟詠部門

会場：美祢市民会館

主管校 戎屋 千賀子
(大嶺高等学校教諭)

第30回山口県高等学校総合文化祭の日本音楽・吟詠部門発表大会が6月14日（土）、美祢市民会館にて開催されました。天候に恵まれ、参加校の協力のもと、右記のプログラムで予定通り無事に終了することができました。

昨年と同様県下15校（演目数17）の参加で100余人の高校生が集いました。内容は、箏曲、太鼓、詩吟、仕舞、長唄と日本音楽の祭典となりました。その中に2名の外国人留学生が日本音楽に親しんで演奏する姿に感動しました。合同演奏は当日2回の合奏練習をしただけでしたが、5校の息が合い、クラシックの子守歌をりっぱに演奏することができました。

日本音楽の部活が減少する中で、大津高校が初めて参加され、大いに盛り上げてくださいました。部員の減少が続く現状ではありますが、日本音楽の演奏をとおして、日本古来の伝統文化に対する理解を深め広めるとともに、学校間の交流を深めながら技術の向上を図りたいものです。

第30回山口県高等学校総合文化祭
日本音楽・吟詠部門発表大会プログラム

	演 目	高等学校名
1	箏曲 春の予感	大嶺高等学校
2	箏曲 夜空ノムコウ	山口県鴻城高等学校
3	箏曲 蕉 きらきら星変奏曲	大津高等学校
4	箏曲 未来花	中村女子高等学校
5	詩吟 富士山	
6	創作太鼓 夜明け 松風 若葉 鴻城魂	宇部鴻城高等学校
7	箏曲 祭花	下関南高等学校
8	箏曲 光のトレイイン	萩高等学校
9	仕舞 鶴亀 春日龍神	誠英高等学校
10	箏曲 クラシック の子守唄	中村女子・大津 柳井・聖光・大嶺
11	平家太鼓 源平音頭 柱万歳	早鞆高等学校
12	箏曲 飛驒によせる 三つのバラード	岩国高等学校
13	箏曲 波の戯れ	徳山高等学校
14	箏曲 花すみれ	田布施農業高等学校
15	長唄 楠 公	高水高等学校
16	箏曲 月下美人	柳井高等学校
17	箏曲 四季彩	聖光高等学校

展示3部門

美術・工芸、書道、写真部門

会場：下関市立美術館

主管校 正田明子
(下関中等教育学校)

「風よかけ巡れ 海の彼方へ 君の思い乗せて」のテーマのもと、第30回高等学校総合文化祭展示部門は、平成20年11月7日（金）～9日（日）の3日間にわたり開催されました。

会場は下関市立美術館で、さすがに会場設備が素晴らしい、生徒の作品も大変映えたのではないかと思います。

会期としては、11月の第2週で、ちょうど「狩野芳崖展」の直後、作品の入れ替え時期にあたったため、2階の展示会場は準備中の状態でした。他の展覧会の入場者が流れて来ることがなくなったのは残念でしたが、その分より柔軟に動くことができました。

<日程>

11月6日（木）会場設営・審査・展示
11月7日（金）9:30～オープニングセレモニー
10:00 開館 17:00 閉館
11月8日（土）9:30 開館 17:00 閉館
11月9日（日）9:30 開館
13:00～表彰式・講評会
16:30 展示終了 作品返却

<作品応募について>

9月26日が締切日で、応募校48校、応募点数はそれぞれ、美術・工芸140点、書道85点（共同作品含む）、写真69点でした。

<準備段階>

6月30日に第1回運営委員会を行いました。今年度は、文化芸術振興条例の制定を受けて、3部門以外の協賛展示の話が出ました。話し合いの結果、暫定的に主管校華道部による華道展示と、下関南高校管弦楽部による祝賀演奏を取り入れることになりました。会場の関係や、様々な問題もあり、今後どうなるかは分かりませんが、総合開会式との関係もからめて考えていかなければいけない問題だと思います。

また、以前の反省を受けて「オープニング・セレモニー」を開催し、もっと高校総文をPRすることについての了承を得ました。

<設営段階>

11月6日（木）、下関地区の高校美術部、書道部、写真部の生徒諸君と、顧問の先生方、そして主管校である下関中等教育学校の先生方に、設営と作品受付をしていただきました。

会場が美術館ということで、学芸員の方の協力もあり、スムーズに進行しました。各学校の皆様にも協力していただいたおかげで、予定の時間内に全ての作業を終えることができました。

<会期中>

来場者数は次のとおりです。

11月7日（金）/8日（土）/9日（日）	246人	126人	469人
----------------------	------	------	------

7日のオープニング・セレモニーは、豊浦高校と長府高校の生徒も参列し、美術館玄関前で盛大に行われました。報道関係も来館し、その日の夕方のニュースに流れました。少しは入場者数の増加につながったのではないかと思います。

また、同時期に下関市の海峡メッセで、中学校総合文化祭も開催されており、中高連携の取り組みとして、昨年の高校総文全国出品作品が展示されました。

<表彰式・講評会>

9日午後、美術館光庭で表彰式が厳かに行われました。式前に下関南高校管弦楽部による演奏も行われ、より格調高い式になったのではないかと思います。八幡高文連会長より、第33回全国高等学校総合文化祭出品候補者に表彰状が授与されました。三重大会の参加と成果を期待したいと思います。

表彰式の後、部門別に講評会を開きましたが、多くの参加者からの質問があり、好評のうちに終わりました。

<終了後に>

主管校を引き受け、何とか無事に終えることができたのは、多くの先生方や経験者のみなさまからの助言・ご指導の賜です。この場を借り



て深く御礼申し上げます。来年度引き受けの岩国地区でもよい大会になりますようお祈りいたします。

美術・工芸部門

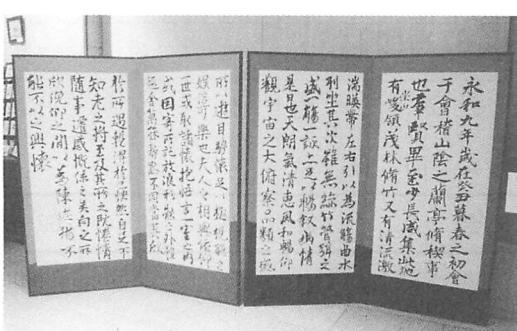
総出品点数140点の、レベルの高い作品が集まりました。平面作品、立体作品ともに高水準のものが多く、審査もかなり慎重に行いました。絵画もデザインも、技術的に高いだけでなく、個人の発想がいかに表現できているか、着想にオリジナリティがあるかに重点を置きました。

技術は生徒の欲求から身に付けられ、表現の手段として存在すべきです。そうした意味で、個性的な作品に賞を授与できたと思います。

作品のレベルが上がれば審査が厳しくなるのも道理ですが、受賞に値するレベルの作品に、賞を授与できなかったのは残念です。今回受賞されなかった生徒諸君にも、顧問の先生方から適切なご指導をいただきますよう、この場を借りてお願ひいたします。 (理事長：宮崎)

書道部門

書道部門には県内26校より85点が出品され、厳正な審査により、来年の全総文三重大会への出品候補作品4点を含む優秀賞12点が選ばれました。今年は、仮名の作品や篆刻の作品がなく、



漢字仮名交じりの作品が一点で、あとは全て漢字作品となりました。最終日の講評会は、長年下関市内の高校で教鞭をとられた福川先生をお招きし、参加生徒全員の作品を1点ずつ丁寧に、先生のもの柔らかいお人柄そのままに、的確な批評も優しく講評をいただきました。また、全体の講評の中では、「高校時代毎日半紙50枚を書いていた」というお話をされ、参加の高校生に対して、練習の重要性を説かれました。生徒たちは、これから部活動で今まで以上に練習に励む決意をしてくれたことと思います。

(理事長：古屋)

写真部門

今年度は、11月7日（金）から9日（日）にかけて、下関中等教育学校を主管校として、下関市立美術館にて行われました。出品総数66点（出品校数9校）、優秀作品は10%の7点となり、開催日前日の11月6日（木）午後、審査委員長清水恒治氏により審査が行われ、「平成21年度第33回 全国高等学校総合文化祭 写真部門三重大会」の出品候補作品5点、および優秀賞2点が選出されました。

三重大会への出品が決定した高校は、岩国工業高校・熊毛北高校・新南陽高校・宇部工業高校（2点）の4校でした。作品の詳細については、本冊子の「第30回 県高総文祭展示部門 優秀作品一覧」をご覧下さい。

この大会に際しまして、主管校である下関中等教育学校の先生方、地区協力校である下関地区の高校の大会役員の先生方、そして補助員の生徒の皆さんに協力ををしていただき、ありがとうございました。

また、大会最終日の9日には、毎年恒例の「写真部会主催 2008年度 撮影研修会・作品コンテスト」を催しました。

審査委員長・引率教諭・生徒、総勢約50名の参加者となり、例年なく盛況でした。

長府庭園内の撮影でしたが、宇部工業高校の生徒たちの撮影風景には感心しました。衣装をまとった生徒をモデルにし、レフ板を使いながらポートレート撮影に取り組んでいました。創意工夫があり、当校の写真部活動の活発さを感じました。全県的に、こういった研修会に積極的に参加し、各校が創意工夫をしながら、この研修会を盛り上げていくことが、技術の向上に大きく役立っていくと思います。

(理事長：佃)

第30回 県高総文祭展示部門出品校一覧表

No.	学校名	美術	書道	写真	No.	学校名	美術	書道	写真
		作品数	作品数	作品数			作品数	作品数	作品数
1	周防大島	5			26	西市	2		
2	岩国	5	4		27	長府	5	3	
3	岩国商業	2	4		28	下関西	5	4	7
4	岩国工業	2		4	29	下関南	5	4	
5	柳井	4			30	響			1
6	光	5		3	31	豊北			4
7	光丘	5	4		32	下関中央工業	5		
8	下松工業			10	33	萩	1		
9	熊毛北高等学校			9	34	萩商工	4	2	
10	徳山		3		35	下関商業	5	4	
11	新南陽	5		10	36	下関中等	5	4	
12	防府	4	4		37	防府総合支援			1
13	防府西	5	2		38	山口南総合支援	1		
14	山口	5	4		39	下関総合支援	1		
15	山口中央		3		40	豊浦総合支援	4		
16	西京	5		10	41	高水	3	4	
17	宇部	4	2		42	柳井学園			
18	宇部中央	5	3		43	誠英	5		
19	宇部西	4	3		44	中村女子			4
20	宇部商業	3			45	野田学園			4
21	宇部工業			10	46	慶進	4		
22	小野田			6	47	早鞆		3	
23	美祢	5			48	萩光塩学院	3	3	
24	豊浦	5	4			共同作品			1
25	田部	3				合計	81	40	62

第30回 山口県高等学校総合文化祭展示部門優秀賞一覧

美術・工芸部門

優秀賞 全国高等学校総合文化祭出品候補作品

学校名	学年	氏名	題名
山口高等学校	2	大堀知広	いつもどおり？
宇部高等学校	2	秋村紀代美	哀色
豊浦高等学校	2	河村彩乃	苦い記憶にはフタをしろ
下関商業高等学校	2	入江早紀	ROOT
下関中等教育学校	1	鋤田喜子	綿とガラス
岩国高校	1	松原由佳	いただきます

優秀賞

学校名	学年	氏名	題名
周防大島高等学校	2	濱田音	夏の終わり
岩国高校	2	尾崎有里	樹
岩国高校	2	山崎仁美	おはよう
柳井高校	2	河内華月	冬の朝
光丘高校	3	森奈都子	妹
光丘高校	3	森奈帆子	タイルと足
防府高等学校	3	足立陽子	eighteen 18
山口高校	2	高橋晴江	落ちる！おちる！
山口高校	2	河村美沙	I wish . . .
豊浦高等学校	3	藤井あゆみ	I'm sleeping ~人に言えない最後の密会~
田部高等学校	3	田辺恵美子	聖母の間
長府高等学校	2	岸山愛	欠けた宇宙に貝をおひとつ！
長府高等学校	2	白井早紀	誰そ彼に消える貴方に
下関西高等学校	1	勢一美紀	中枢神経
下関南高等学校	1	元永未玖	Japanese culture
下関中央工業高等学校	1	沖野暢子	幻想の中の犬
萩商工高等学校	2	梅本千晴	material
下関商業高等学校	2	水城まどか	supernova
下関中等教育学校	2	伊藤道俊	歴司
下関中等教育学校	1	植田春菜	剣伎
誠英高等学校	3	松永真実	描くこと
慶進高等学校	2	加藤陽葉	リヴー live ライヴ

書道部門

優秀賞 全国高等学校総合文化祭出品候補作品

学 校 名	学年	氏 名	題 名
岩国商業高等学校	1	沖 永 祐 子	臨 集字聖教序
山口高等学校	2	久 保 瑞 希	臨 建中告身帖
下関商業高等学校	1	前 寺 美 樹	臨 雁塔聖教序
下関中等教育学校	1	橋 本 友 貴	臨 牛欄造像記

優秀賞

学 校 名	学年	氏 名	題 名
岩国高等学校	3	藤 岡 真実子	臨 書譜
山口高等学校	2	山 田 真 実	臨 黄州寒食詩卷跋
宇部西高等学校	2	長 田 悠 佳	臨 伊都内親王願文
下関西高等学校	2	木 内 友 理	臨 蘭亭序
豊北高等学校	3	松 本 拓 子	漢字仮名混じりの書
下関商業高等学校	1	吉 田 早 希	臨 牛欄造像記
下関中等教育学校	1	山 下 燿	臨 甲骨文
中村女子高等学校	2	山 見 萌	臨 李白憶旧遊詩卷

写真部門

優秀賞 全国高等学校総合文化祭出品候補作品

学 校 名	学年	氏 名	題 名
岩国工業高等学校	1	小 迫 美由紀	老 木
熊毛北高等学校	1	今 村 明日香	鏡の中の親友
新南陽高等学校	2	柳 田 慶 一	戯 れ
宇部工業高等学校	1	末 廣 大 志	猫 視
宇部工業高等学校	1	澄 川 竜 也	あっかんべえ～

優秀賞

学 校 名	学年	氏 名	題 名
新南陽高等学校	1	安 達 汐 里	小さな争い
小野田高等学校	1	竹 田 咲 絵	別 れ

囲碁部門

会場：山口県立山口高等学校

理事長 富山貴之
(山口高等学校教諭)

第30回山口県高校総合文化祭囲碁部門・第20回大会兼第32回全国高等学校文化連盟囲碁部門第22回大会県予選を、10月26日（日）に山口高校で開催しました。参加校は17校・参加者数は48名で、盤上で高校生同士の熱い戦いが繰り広げられました。この大会は、全国大会代表と中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦に分けて行われる大会で、男子代表決定戦には14名、女子代表決定戦には5名、段級位認定戦（男女混合）には29名の選手が参加しました。試合の進行はすべてスイス方式に従い、男子代表決定戦・女子代表決定戦・段級位認定戦ともに4回戦で行われました。

<大会結果>

団体男子 優勝 山口県立下関西高等学校

準優勝 山口県立山口高等学校

女子団体 優勝 山口県立防府商業高等学校

男子個人 優勝 山口中央 阿武 貴裕

2位 下関西 河野 浩和

3位 萩 田中 浩貴

女子個人 優勝 周防大島 堀本 範子

2位 防府商業 吉武 勝子

<上位大会への出場権>

男子個人1位と2位、および女子個人1位は来年8月1日、2日に三重県で開催される全国大会の団体戦のメンバーになります。また、個人

男子3位と個人女子2位は同じく個人戦に出場します。今年度山口県チームは団体戦で全国優勝を果たしました。来年度は是非、連覇を果たして欲しいと期待しています。

また、1月6日（火）、7日（水）に広島市の中国新聞ビルで開催された第12回中国高等学校囲碁選手権には、男子団体戦に下関西高校、女子団体戦に防府商業高校、個人戦には県内予選の男子上位6位までの選手（団体メンバーを除く）、女子上位2名が出場しました。こちらの結果については、「囲碁部門の報告」をご覧下さい。

現在、山口県の高校生の囲碁レベルは極めて高く、今年度も多くの大会で山口県代表選手が活躍してくれました。来年度も彼らの活躍に大いに期待したいと思います。

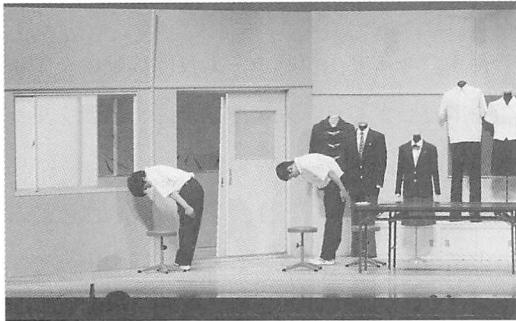


（対局風景）

演劇部門

会場：下関市民会館

理事長 金森健一
(下関商業高等学校教諭)



《総合開会式での上演》

今年度の演劇部門は、第30回山口県高等学校総合文化祭開会式にお芝居を上演させていただくことから始まりました。開会式での演劇部門単独での上演は初めてのことだったと思います。下関地区では15年ほど前から市内各校の演劇部の生徒が集まり協力して一本のお芝居を作り上げるという合同公演を実施しています。そこで今年は、この合同公演のキャスト・スタッフで20分という短い時間ですが、お芝居を作つてお客様に観ていただこうと考えたのです。そして3月の通常の合同公演の練習時に参加希望者を募ったところ、5校49名（キャスト32名スタッフ17名）の生徒が集まりました。上演作品は「演劇とは何か」（戸田昌征作）です。上演台本を3月中に各校に配布し、キャスト選定、4月26日の第一回練習までに各自がせりふを覚えてくることを課題にして稽古を始めました。本番までの稽古回数はわずか5回しかとれませんでしたが、土曜日・日曜日に下関商業高校に集まり、共に演出を考え、稽古に汗を流しました。

そして上演当日、下関市民会館は地区大会で使い慣れている会場でしたが、音楽部門の発表の合間に時間を取つていただいた関係で、上手下手の反響板の撤去ができずに、道具の出し入れやキャストの出入りに思いの外時間がかかってしまいました。結局2分ほど時間をオーバーし運営の方々にはご心配とご迷惑をおかけしてしまいました。この場でお詫び申し上げます。けれども生徒たちはこの20分間、しっかり動き、笑い、怒り、考え、心を動かし、充実した上演ができたと思います。

夏の発表会（地区大会）ではいつも観客動員が課題となるのですが、今回の総合開会式ではほぼ満席の1200名近くの方々に観ていただくことができ、生徒たちにとっては貴重な体験であり大きな喜びでもありました。最後に、このような貴重な時間と場所を演劇部門の生徒たちに与えてくださいり、最大限の協力と配慮をして下さった関係各位の方々に感謝をいたします。

《県大会》

今年の県大会は下関にて、4地区の代表9校の参加で行われました。昨年一昨年と、飛行機の時間等の関係で十分に講評の時間を設定でき

なかった分、今年の全体講評は40分以上にわたり篠崎先生に熱くお話しをしていただくことができました。その中で、お芝居は、お客様の心の中にイメージを作り出す作業である、と繰り返し語られた先生の言葉は心に響き、この言葉を手がかりにもう一度自分たちのお芝居作りを見直してみようと思いました。

さて、今年の県大会での上演作品を見ると、きびしいことに創作は2本のみ、地区大会24校中でもわずか4本しかありませんでした。イメージを作れない説明的な創作脚本で上演するより、しっかりと脚本で丁寧に芝居を作りこんだほうが良いと、以前に審査員の先生から伺ったことがあります。しかし多くの方々に観ていただくことのできるせっかくのチャンスなのですから、これこそ100%自分たちの手作りのお芝居だという意気込みを持って、来年こそ1校でも多くの学校が創作にチャレンジしてくださることを期待します。また既成の作品であったとしても、こんな面白い本があったのか、と思えるような作品に出会わせてくれることを楽しみにしています。

第30回山口県高等学校総合文化祭（演劇部門）
第27回山口県高等学校演劇大会

日程 10月25日(土)～26日(日) 下関市民会館

上演校（上演順）	上演作品	作者 ◇は創作
長府高校	武道館の前で	石原 哲也
新南陽高校	Letters	川木田敏晴
山口県鴻城高校	スケッチブック	渚 太陽 ◇
宇部中央高校	生まれ出る空気（エアー）	演劇部 ◇
◎下関商業高校	みんなの歌	内藤 裕敬
◎岩国総合高校	Break Through	外山 曜
山口中央高校	チェンジ・ザ・ワールド	石原 哲也
宇部高校	お葬式	亀尾 佳宏
下関中等教育学校	たまべん	柳雅之・演劇部潤色

◇は最優秀校（中国大会出場）

講師・審査員
篠崎 光正（桐朋学園芸術短期大学教授）
山口 武信（高等学校演劇協議会中国地区顧問・劇作家）
片岡 直史（華陵高等学校演劇部顧問）

放送部門

会場：ニューメディアプラザ山口

理事長 吉川佳子
(山口高等学校教諭)

第30回山口県高等学校総合文化祭

放送部門の記録

11月8日（土）に山口市のニューメディアプラザ山口で第30回山口県高等学校総合文化祭第15回放送部大会が開催されました。午前中に朗読部門とアナウンス部門、午後にオーディオピクチャー部門とビデオメッセージ部門の発表がありました。朗読部門は29名、アナウンス部門は22名、オーディオピクチャー部門は6作品、ビデオメッセージ部門は3作品のエントリーがありました。参加校は昨年と同じ11校です。

朗読・アナウンス部門の審査員は山口放送からは勝津正男アナウンサー、テレビ山口からは横溝洋一郎アナウンサー、山口朝日放送からは伊川弘宣アナウンサー、番組部門の審査員は山口放送の藤田史博さんでした。

番組については、今後の作品作りに活かせるように、それぞれの作品について一人一人の感想を書いて、それぞれの学校に渡すという試みをしてみました。

閉会式の講評では、3人のアナウンサーから、全ての出場者の発表についてのコメントがありました。結果は次の通りです。

朗読部門

最優秀賞	山口高校	山本有希子
優秀賞	山口高校	木村友香理
	岩国総合高校	石橋奈々
入賞	熊毛南高校	吉田美幸
	徳山高校	佐伯友美
	熊毛南高校	長野裕子

アナウンス部門

最優秀賞	徳山高校	戸崎安由美
優秀賞	徳山高校	河井実咲
	宇部高校	嶋野寛章
入賞	徳山高校	長藤由貴子
	熊毛南高校	山根幸恵
	岩国高校	大谷あゆみ

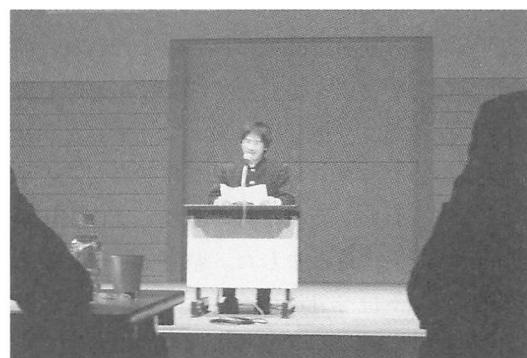
オーディオピクチャー部門

最優秀賞	徳山高校
	優しき勇者「ツネゴン」

ビデオメッセージ部門

最優秀賞	山口高校
	山口といえば…ふぐ？

朗読部門とアナウンス部門は最優秀賞と優秀賞二人、番組部門は最優秀賞が来年の三重県で開催される全国大会に出場することになります。



将棋部門

会場：防府市文化福祉会館

理事長 弘中 敏之
(徳山高等学校教諭)

第30回山口県高等学校総合文化祭将棋部門大会は全国高等学校総合文化祭将棋部門大会および第44回全国高等学校将棋選手権大会の県予選を兼ねて5月24日（土）・25日（日）の2日間開催されました。開会式には山口県高文連の八幡フミエ会長、橋田章将棋専門部会長、山口県教育庁高校教育課の井上正道先生をはじめ、関係の方々のご出席をいただきました。団体戦・個人戦の2日間に延べ135人の生徒が参加しました。昨年に比べ出場校数は減少しましたが、女子の参加は延べ15名となり大幅に増えました。全国的にも男女の間で参加生徒数や棋力の差が目立つ競技ですが、今後、県内の女子部門の活性化に期待が持てる大会でした。

1日目の団体戦には20チームが参加し、まず四ブロックに分かれて総当たりの予選リーグを戻しました。そして各組の1位が決勝トーナメントに進出しました。各チームの実力が伯仲し緊迫した好局が続きました。

2日目の個人戦では、男子の部61名、女子の部9名のエントリーがありました。男子はトーナメント2回戦まで持ち時間20分の切れ負け制、3回戦以降は15分後30秒の秒読みで行われ、前日に団体での優勝を逃した宇部高校が奮起し実力をいかんなく発揮した結果となりました。女子は2つのブロックに分かれて各総当たりの予選リーグを戦い、それぞれの1位と2位が決勝トーナメントに進みました。結果は宇部高校と防府高校が上位を分け合いました。敗者は敢闘賞を目指す親睦リーグ戦や指導対局に参加し交流を深めました。

また、団体戦と男女個人戦の優勝者、女子個人戦の準優勝者は群馬県前橋市で開催された全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得しました。結果の詳細は次のとおりです。

<団体戦> 20チーム

第1位 防府高校A

池田啓晃・合力輝一・足立正好

第2位 宇部高校A

香具直希・吉田貴志・石川勇人

第3位 防府高校C

浅井健志郎・田中貴典・西山 誠

<男子個人戦> 61名

第1位 香具 直希（宇部高校）

第2位 吉田 貴志（宇部高校）

第3位 石川 勇人（宇部高校）

村田 健治（下関西高校）

<女子個人戦>

第1位 伊原 綾菜（防府高校）

第2位 藤上由莉佳（宇部高校）

第3位 足立 陽子（防府高校）



文芸部門

会場：徳山商工高等学校

理事長　國嶋洋治
(徳山商工高等学校教諭)

第6回文芸コンクール大会を終えて

今年度は部門の都合により山口県文芸コンクールを主に行いました。5月20日（火）から例年通り、山口県全高等学校に文芸コンクールの参加要項を配布し7月1日より8月4日までを作品の発送期日とし、応募者総数72名、出品校13校、出品数小説32作品、詩40作品、短歌8作品、俳句7作品の応募がありました。

例年このコンクールにおいて最優秀学校賞受賞校2校には次年度の全国高等学校総合文化祭の文芸部門に参加を依頼し、学校特別賞の受賞校2校は次年度の文芸道場中国ブロック大会に参加を依頼しております。

8月5日より、編集作業に入り作品集の印刷準備をして8月下旬に本印刷に入り、9月初旬に各応募学校に応募者数ほど作品集と、審査票を送り各学校の生徒ならびに顧問の先生で、互選をしてもらいました。10月初旬に審査票を回収し事務局で集計をして理事会の承認を経て各

校に連絡いたしました。

結果今年度は、柳井商工高等学校・萩商工高等学校の2校が来年度の全国高等学校総合文化祭（三重大会）に出場予定になりました。また西京高等学校・山口高等学校の2校は来年度開催予定の文芸道場中国ブロック大会（広島大会）に出場予定です。尚今年度文芸道場中国大会においては、西京高等学校・柳井商工高等学校が全国文芸道場に推薦されました。

その他各部門で最優秀賞を1名、入選を1～2名決定しました。

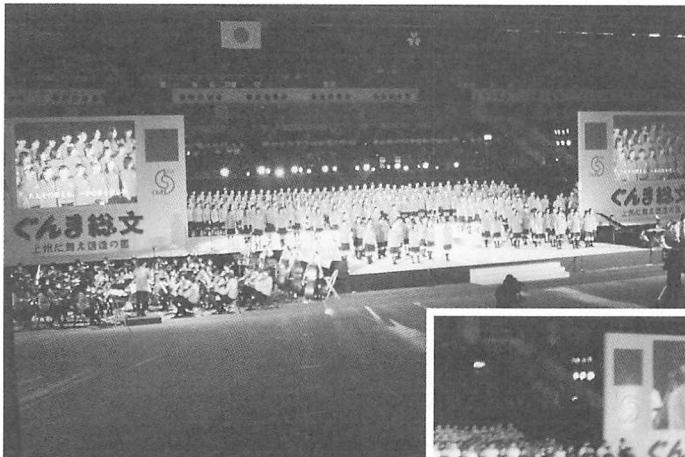
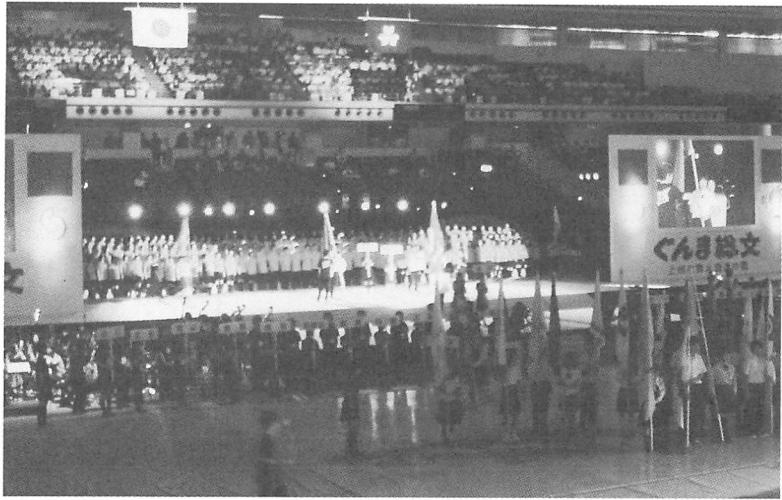
今回コンクールを重点においていた結果、大変盛会に終わり事務局としては満足しております。願わくばもう少し作品を多く応募してもらえるように今後啓蒙してゆきたいです。コンクールにおいてご支援、ご協力いただいた多くの関係者の皆様に心よりお礼申し上げるとともに、今回の大会を基により研鑽を重ね、各校の文芸部門が更なる発展を遂げる事を願っています。

第32回全国高等学校総合文化祭の記録

上州に舞え 創造の風

全国高総文祭（群馬大会）参加校一覧

部門	高等学校	参加生徒数	出品点数	備考
パレード	山口県鴻城	(59)		マーチングバンドにも出演
	慶進	(7)		
	誠英	(16)		(2校合同出演) パトントワリングにも出演
演劇		0		
合唱	県立萩	54		演目「雨、「どちらなきりしたん」よりIV」
吹奏楽	県立豊浦	51		演目「ブルーシェイズ」「豊高メドレー」
器楽管弦楽	県立熊毛南	13		演目「ディベルティメント K. 138」
日本音楽	県立大嶺	5		演目「春の予感」
マーチングバンド	山口県鴻城	59		
パトントワリング	慶進	7		
	誠英	16		(2校合同出演)
美術・工芸	県立岩国商業	2	1	工芸「悲劇三十六景」 落井采華(3) 山崎ひとみ(3) 片岡未祐(3) 河角美咲(3) 角佳苗(3)
	県立山口	1	1	デザイン「ショク」前田黎(3)
	県立豊浦	1	1	絵画「Clown or Crown. 正解は鏡」城島はる香(3)
	県立長府	1	1	絵画「渦巻く猫」原ひかる(2)
	県立下関西	1	1	絵画「未来想定」松尾摩耶子(3)
	県立萩商工	1	1	絵画「another world」杉本彩乃(3)
書道	県立岩国	1	1	漢字「曹全碑臨書」国重美南(3)
	県立山口	1	1	漢字「臨伊都内親王頤文」鹿嶋佳奈子(3)
	県立下関中等教育	1	1	仮名「臨中務集」原豊(2)
	下関商業	1	1	漢字「臨雁塔聖教序」玉川えり(3)
写真	県立下松工業	2	2	単写真「大きくなったね」岡村和典(3) 単写真「ナイスキャッチ」河島龍興(3)
	県立新南陽	1	1	単写真「演劇稽古」藤井祐里(3)
	県立宇部	1	1	単写真「瞬」沖原徹(3)
	県立下関西	1	1	単写真「仲良し」徳永五月(2)
放送	県立光	1		朗読 窪田美穂子(3)
	県立熊毛南	1		朗読 石原絢香(3)
	県立徳山	2	1	アナウンス 戸崎安由美(2) ビデオメッセージ「Pちゃんが行く!笑顔のネットワーク~」
	県立山口	1		朗読 山本有希子(2)
	県立山口農業	1		アナウンス 奥村文綾(3)
	県立宇部	2	1	アナウンス 竹内早紀(3) オーディオピクチャー「レクイエム」
囲碁	県立周防大島	1		団体戦(男女混合) 堀本範子(2)
	県立徳山商工	1		個人戦(女子) 中島美嬉(3)
	県立山口中央	1		団体戦(男女混合) 阿武貴裕(2)
	県立下関西	1		個人戦(男子) 河野浩和(2)
	県立下関工業	1		団体戦(男女混合) 藤本裕樹(3)
将棋	県立防府	4		団体戦(男子) 足立正好(3) 池田啓晃(3) 合力輝一(3) 個人戦(女子) 伊原綾菜(3)
	県立宇部	2		個人戦(男子) 香具直希(3) 個人戦(女子) 藤上由莉佳(2)
文芸	県立柳井商工	3		詩 阿部菜見子(3) 短歌 谷山明代(2) 俳句 杉山絵美(2)
	県立下関南	2		散文 細森郁美(3) 文芸部誌 萩原祐見子(3)
総合開会式	山口県鴻城	(1)		蓑島輝子(3)
合計		参加生徒数	245名	



【式典】



◀市街パレード

器楽・管弦楽部門

会場：群馬県民会館

山口県立熊毛南高等学校

2年 鳥枝 靖子

8月8日の朝、山口県を出発。新幹線や在来線を乗り継ぎ、6時間以上かけて群馬県前橋市へ移動しました。予想以上の距離と時間そして暑さの中、ギターを持っての移動はかなり疲れました。しかし、練習の成果を出したいという部員の気持ちは強く、到着してすぐに練習会場に向かいました。練習のためにお借りした前橋高校は、とてもきれいな校舎に冷房も完備、私たちはこれが高校なのかと疑いながら思わず写真を撮っていました。スタッフの方や、先生方に大変親切にしていただき、山口を離れた不安は一瞬にしてなくなりました。しかしほっとしたのは束の間で、徐々に大きな大会に出場するという実感がわいてきて、練習時間はあっという間に過ぎてしまいました。

本番当日9日、8時に会場の群馬県民会館に着きました。すでにたくさんの関係者の方や、

全国から集まった高校生でごったがえしていました。初日のプログラム1番ということで、開会式はリハーサル室を出てステージ袖で見ることになりました。暑さと冷房でギターの弦が切れないか、チューニングがずれないかと、注意をしてきたのに、その間の15分くらいにチューニングがずれてしまい、それを状況に応じて修正することができなかったことが反省点でした。その後、会場で聴いた他校の演奏はスケールも大きく、音の強弱や体全体を使った表現、息のあった迫力ある演奏に圧倒されました。

私たちはこの経験を通して、表現をするという意識が高くなりました。そしてチームワークがよくなり、ギターへの思いもいっそう強くなりました。この群馬大会は私たちの思い出の中ですっかり生き続けると思います。最後になりましたが、参加にあたりお世話になったすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



▲熊毛南高等学校

合唱部門

会場：群馬音楽センター

ぐんま総文に参加して

山口県立萩高等学校

2年 菊屋 典子

今年度は山口県代表として全国の沢山の方々の前で演奏できることを、大変嬉しく思っています。普段こんなに遠くまで遠征し演奏できることはないので、とてもよい経験になりました。会場では、本当に大勢の高校生がいて、自分たち以外にも合唱に親しんでいる学生がこんなにいるのか、と圧倒されました。

私たちが歌ったのは、多田武彦作曲「雨」と千原英喜作曲「混声合唱のためのどちりなきりしたん」から『IV』の2曲です「雨は」2006年に山口県で開催された「国民文化祭」で歴史的ゆかりのある福島県立会津高等学校合唱部をお招きして交流した際、会津高校が歌って感動を呼んだ曲です。

「どちりなきりしたんは」は、江戸時代に幕府によって弾圧・迫害されていた隠れキリストンの悲しみと祈りを歌った曲です。私たちの地元である萩市にも、そうした隠れキリストンの人々の墓地が残されています。

どちらの曲もアカペラなので、どうすれば美しいハーモニーを奏でられるかと考えながら沢山練習しました。

私は、部活動をしていく上で一番大切なことは歌うことを心から楽しむことだと感じています。自分の思うように歌えず辛く歯痒い思いをすることもあります。それでも、皆で曲を完成させて一体となれたときの喜びと爽快感は、言葉につくすことができません。

今は、先輩方も引退されて部員も減りましたが、これからもよりよい演奏を皆さんに聴いていただけるように、日々の練習に励みたいと思っています。



▲山口県立萩高等学校

吹奏楽部門

会場：群馬音楽センター

平成20年8月7日（木）～8日（金）の2日間、「上州に舞え創造の風」をテーマに群馬県群馬音楽センターで吹奏楽部門の発表会が開催され、私達豊浦高校は山口県代表として出演させていただきました。

豊浦高校は、第1日目の17番目の出演でした。出演は午後からだったので、午前中は高崎経済大学附属高等学校の体育館で練習をしました。早めに練習会場に到着したので、今回の総合文化祭に出演した福島県立磐城高等学校の練習を見学させていただきました。人数が多いということもありましたが、一人ひとりが責任を持って演奏していて、とても迫力があり、良い勉強になりました。

群馬音楽センターには午後に到着し、会場の広さに驚きました。本番前の移動は4回あり、会場が広いので打楽器を運ぶのがとても大変でした。

本番で演奏した曲は、吹奏楽コンクールの自由曲だったフランク・ティケリ作曲ブルーシエイズと今回指揮をしてくださった織田浩司先生がアレンジした豊高メドレーでした。

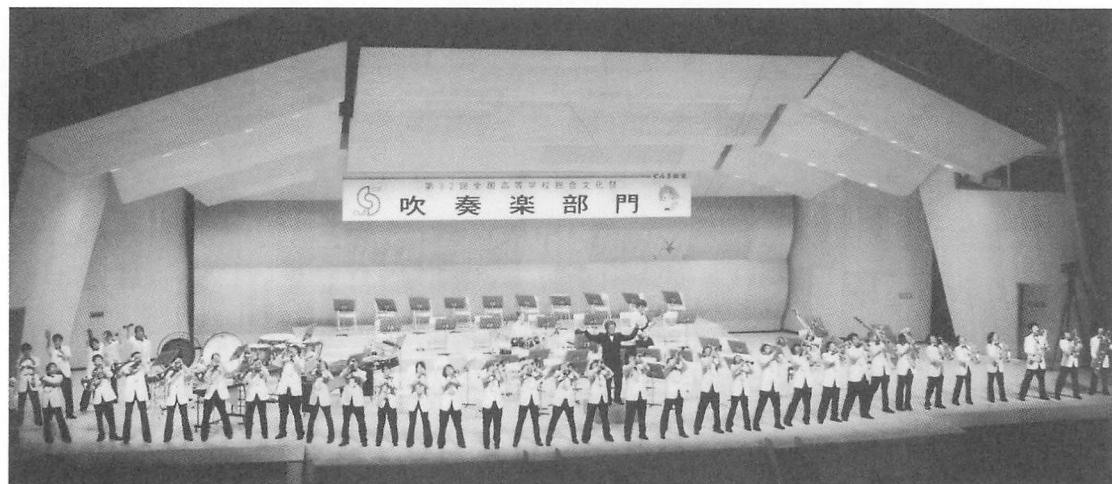
ステージに上がり、セッティングをしている途中に秋篠宮家がお見えになり、会場が一気に沸き上りました。私達の演奏をどのようにお思いになられるのだろうかと考えていたら不安

になってしまい、緊張してしまいました。しかし、照明がつくと程よい緊張に変わり、豊浦高校らしい演奏ができました。豊高メドレーには、豊浦高校の十八番であるシェイク・ア・テイブル・フェザーが含まれており、歌も踊りも楽しんででき、会場で聴いていた方々にも楽しんでもらえたと思います。

本番後は会場へ戻り、他校の演奏を聴きました。どの学校も完成度が高く、演奏にさまざまな工夫がなされており、パフォーマンスも見ていている側までもが本当に楽しくなるものでした。

第1日目のすべての出演が終わった後、講評があり、地元の高校生の司会進行による、ご当地クイズ大会をしました。やはり、地元の高校生が賞品をもらっていました。でも、会場全体が盛り上がり、その後の合同演奏も全員で一つの曲を吹くことができる喜びを感じながら楽しんで演奏することができました。

最後になりましたが、この文化祭に出場するにあたり、推薦して下さった山口県吹奏楽連盟を始め、御指導下さった諸先生方、保護者・OBの皆様、地域の方々、その他多くの皆様には大変感謝しております。このような貴重な体験ができ、また一步前進できたように思います。この経験を今後に生かせるように努力していきます。本当にありがとうございました。



▲豊浦高校

マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：ぐんまアリーナ

山口県鴻城高等学校 吹奏楽部
部長 萩島 漢子

私たち山口県鴻城高等学校吹奏楽部は、山口県代表として、「上州に舞え創造の風」をテーマに群馬県で開催された、第32回全国高等学校総合文化祭に参加させていただきました。私たちはこの祭典に向け一生懸命練習に励んで参りました。

今年の総合開会式では、式典に山口県を代表として、私が出席いたしました。都道府県代表生徒が集まって各県の紹介をしました。そこには、秋篠宮様がご出席されておりました。そのため、私は緊張しました。ですが、他県の生徒さんが励ましてくれたおかげで、本番では落ち着いて臨むことができました。この開会式は、高校生が自ら創り上げており、若さ溢れる躍動感に満ちた手作りのとても良い式典となったと思います。

総合開会式の終了後、パレードに出場しました。鍛え抜かれた高校生によるマーチングバンド・バトントワリングだけあって、どの出演団体もとてもきびきびとした動きと、すばらしい演奏に心がわくわくしました。私達は、「KEARN EBIRU NINE」という曲を演奏しまし

た。この曲は、とてもノリがよく、親しみやすい曲です。そして、8月8日（金）には、フェスティバル部門に出場しました。本番で演奏した曲は、3曲構成からなっており、テーマは「motion」です。この意味は、気軽に、軽やかに、楽しくといった前を向いて前進するポジティブな意味を持っています。私達は、この大空に向かって奏でる音楽と演技をお楽しみいただけるように演奏をしました。この2日間の本番は、とても緊張した中で演奏・演技をしました。でも、今一人一人が持っている力を全力で出し切ることによって、一つになり最後まで集中をし、精一杯自分たちの演奏ができたと思います。

この全国高等学校総合文化祭では、全国の高校生が集まってどの部門でも皆で盛り上げて作り、とても良いものが出来たのではないかと思い、嬉しい気持ちでした。

今回、私達が文化祭に出場でき大変感謝しております。また、各県代表の演奏・演技を見て、大いに刺激を受け、貴重な体験が出来ました。この経験を今後の練習に生かし、この夏の熱い思い出を忘れないように心に刻んでおきたいと思います。



▲山口県鴻城高等学校

日本音楽部門

会場：太田市新田文化会館

思い出に残る最後の演奏

大嶺高等学校

3年 笹村絵梨香

大嶺高校は初めての全国大会への参加でした。今回は群馬県太田市で開催され、全国から57校の高校が参加していました。どこの高校もレベルが高く、私は緊張感でいっぱいでした。しかし、全国大会に参加できたことはとても光栄なことだと思いました。初日のリハーサルの日は、本番さながらの練習をしました。演奏会場は大きくて広く、とても音が響いていました。この日は限られた時間の中で何度も練習できました。そして、翌日、本番を迎えるました。

会場は観客で満員で、参加校の面々も緊張の

色を見せっていました。他校の演奏はとても上手く音がきれいでした。大嶺高の演奏直前になると、緊張がさらに高まりました。ステージに立つと、広く、たくさんの顔が見えました。そして、演奏。終わるとやり遂げた達成感とこれで部活を引退するのだというちょっと寂しい思いでいっぱいになりました。演奏中にちょっとしたミスもあったけど、今まで弾いてきた中で一番思い出に残る演奏になったと思いました。高校生最後の年にこのような大会に参加することができたのは、一緒に練習してきた仲間や指導してくださった先生方のおかげと心から感謝しています。



美術・工芸部門

会場：群馬県立近代美術館

理事長 宮崎龍次
(下関商業高等学校教諭)

今回、全国総文祭群馬大会に参加した6組のみなさんから、感想をいただいています。それぞれの心に響いた感動をお届けします。

「悲劇三十六景」立体
山口県立岩国商業高等学校
3年 落井 采華

初めての共同制作で仕上げた作品が、全総文祭出品候補作品に選ばれたので、とても嬉しく思いました。制作活動の場面では、普段ゴミになるようなものをあえて使い、環境問題を訴える事をテーマにした大作を作りあげました。最強に個性的なメンバーが一番一つになれた瞬間であったので、心に残る思い出となりました。



「ショク」デザイン
山口県立山口高等学校
3年 前田 黎

作品制作中は、ただ作品を仕上げることで精一杯で大変だなと思うばかりでした。しかし全国から総文祭に集まった作品はすばらしいものばかりで、その中に自分の作品が飾られている様子は気恥ずかしさもありますが、とても誇らしいものでした。全国のすばらしい作品を見、こうした機会に恵まれ、良い経験になりました。



「渦巻く猫」絵画
山口県立長府高等学校
2年 原 ひかる

出品した作品は、自分の一番描きたかった猫という存在を、素直に感性に沿って描いた作品だった。私なりに佳い出来だったと思っていたが、全国の作品を見て、その凄さに感動し圧倒された。その後猛暑の中、共同制作で一緒にアーチを作っていた人が、私



がこれはと思った作品の人だと知り、びっくりした。

「Clown or Crown. 正解は鏡」絵画
山口県立豊浦高等学校
3年 城島はる香

本年度全総文祭に参加して、作品の一つ一つに似たものはなく、一人ひとりの個性と感性によって形を成していると感じました。全く自分の知らない場所で、同じように芸術を楽しみ努力している人がいると思うと、自分もこれから更に頑張っていかないとと思いました。総文祭はとても良い経験になったと思います。



「未来想定」絵画
山口県立下関西高等学校
3年 松尾摩耶子

私にとってこの総合文化祭への参加はとても貴重な経験となりました。近代美術館に飾られていた全国の生徒の作品は一つ一つに存在感があり、見応えのある作品ばかりで、今でも印象強く心に残っています。絵だけでなく立体作品も、写真で見たときと違って作者の気持ちが伝わってくるようでした。



「Another World」絵画
山口県立萩商工高等学校
3年 杉本 彩乃

高校入学当初は芸術に関してはまったくの初心者でした。高校文化祭に出展する作品も、特別な技術があったわけではなく、自由に愛情をこめて描きました。群馬県の会場にも、思い思いに描かれた作品があふれていて少し安心しました。これからも自分らしさを忘れず、よりよい作品を描きつづけていきたいと思います。



書道部門

会場：群馬県庁県民ホール

全国展に出品した4校の生徒のみなさんに、それぞれ感想をいただいているので、ご紹介します。

山口県立下関中等教育学校 原 豊

『臨 中務集』

今回全総文に参加して、とても強く思ったことが3つあります。会場での他の生徒の作品を見るまでは思いもしなかったことです。

1つ目は、良い作品を仕上げるために、書くことが好きで、とにかく練習あるのみ、練習量が重要であると改めて思いました。講評会では清書に要した時間が10時間を越えた作品が多数あると聞き、1つの書を作品として仕上げるために大変な努力と根気が必要であると感じました。2つ目は、今まであまり自分で書いてみたいなと思ったことのない書がとても格好良く見え、自分でも書いてみたいと思った書があったことです。3つ目は、自分は今回の作品を仕上げるにあたり、できる限りのことをしたつもりでしたが、全国の皆の作品の中に並ぶと、細かい部分が甘かったなと思いました。妥協をしたつもりはありませんが、自分に甘かったと反省しました。これからは、もっと自分に厳しくしていきたいです。

下関商業高等学校 玉川 えり

『臨 雁塔聖教序』

今回全総文祭に参加し、とても貴重な経験ができました。全国の高校生の作品を見て、圧倒

されました。どの作品を見ても本当にすばらしく、改めて全国のレベルの高さを感じました。交流会では群馬県の特産品であるだるま作りをし、他県の高校生とも仲良くなれたので良かったです。この経験を生かし、これからも書道に励んでいこうと思います。

山口県立山口高等学校 鹿嶋佳奈子

『臨 伊都内親王頤文』

全総文祭に参加したことによって、とても貴重な経験ができました。全国から選ばれた多くの作品は完成度が高く、また書体もさまざま個性あふれる作品ばかりでした。作品を見ているうちに、今まで自分が書いたことのない書体にも挑戦したいと思いました。交流会では、他県の人と仲良くなることができ、本当に楽しい時間を過ごせました。これからも書道を続けていきたいと思っています。

山口県立岩国高等学校 国重 美南

『臨 曹全碑』

群馬県の全総文祭の参加は名誉であり、大変喜ばしい経験でした。全戸公の書道を愛する高校生の皆さん的作品に触れ、多くの刺激を受けました。交流会でのダルマ製作では他県の生徒と思い思いの言葉を書き合い、記念に頂きました。これからもそのダルマを大切にして、書くことのすばらしさ、感じたことの経験を忘れず、頑張っていきたいと思います。



写真部門

会場：高崎シティギャラリー

下松工業高校

3年 河島 龍興

写真部に入部して2年目の秋、私は顧問の先生より、山口県総文で自分の作品が優秀賞に入選したこと知りました。また、翌年、全国大会の近づいたある日、今度は全国で奨励賞に入選したとの知らせを受け、とても驚きました。

そして迎えた8月、山口県の代表として、遠い群馬県へ向かいました。

展示会場では、すでに各都道府県からやって来た人でぎわっており、全国から集まった数多くの作品が展示されていました。

その日、私は会場の作品一つ一つをじっくりと観賞しました。どの作品も、自分には思いつかない構図や、迫力のあるものばかりで、全国という規模の大きさとレベルの高さを改めて感じました。

翌日の撮影会は、バスで1時間ほど行った一ノ倉沢で行われました。

そこは、高い山々に囲まれた地域で、私達は山頂まで、ロープウェイで登りました。山頂は涼しく、この日は天気が良かったので、どこま

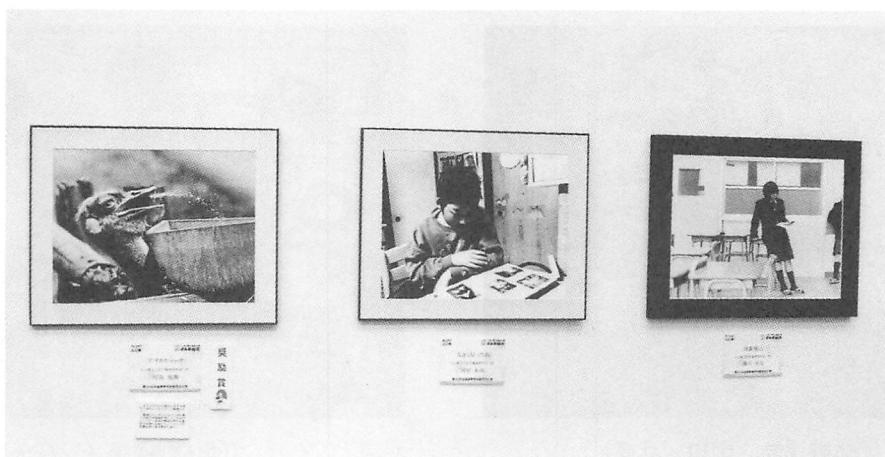
でも山々が続いて見えました。良い写真も撮れ、恵まれた撮影会であったと思います。

そして最終日の表彰式、私は少し緊張しながら、高崎文化会館のステージの上に立ちました。多くの人が見守る中、賞状を受けました。その時私は、これまで以上に奨励賞という賞の重みを感じました。

その後の講評会では、審査員の方から自分の作品のコメントを聞き、被写体のユニークさだけでなく、自分は気にしていなかった撮影時のシャッタースピードや、現像の際の焼き具合も良いと評価されたことから、今までの写っている物や構図だけにこだわっていた自分にとっては大変勉強になりました。

今回、全国高等学校総合文化祭に参加でき、そして奨励賞を受賞できたことは、私の人生の中で誇ることのできる経験となりました。今日まで写真部で活動することができて、本当に良かったと思っています。

最後になりましたが、顧問の先生方、写真部の皆さん、本当にありがとうございました。



囲碁部門

会場：群馬県生涯学習センター

山口中央高校

2年 阿武 貴裕

8月9日（土）～10日（日）に群馬県前橋市の群馬生涯学習センターで開催された第32回全国高等学校総合文化祭の囲碁部門に、山口県の団体メンバーとして下関工業高校の藤本裕樹君・周防大島高校の堀本範子さんとともに出場しました。今回の大会は僕にとって初めての団体戦での全国大会への出場であり、若干の安心感と責任感の入り交じる心境で大会に臨みましたが、緊張することもなくいつも通り対局することができました。大会前から、今年はこのメンバーでは是非優勝をねらいたいと思っていました。3

回戦までの富山・新潟・沖縄との対戦は順調に進んだのですが、4回戦の東京との対戦が厳しく、僕自身も時間に追われ盤面でも劣勢でしたが、なんとか勝つことができました。5回戦の長崎との対戦は順調に進み、いよいよ全勝同士の兵庫との決勝戦を迎きました。兵庫は強力なメンバーがそろっていてかなり苦戦しましたが、3人とも勝利をおさめ、全国優勝を成し遂げることができました。今大会の経験を生かし、来年度の三重大会でも是非連覇を果たせばと願っています。また、周りの人々への感謝の気持ちを忘れることなく、僕自身さらに力をつけていきたいと思っています。



（団体戦決勝 山口×兵庫）



（団体戦優勝メンバー）

放送部門

会場：伊勢崎市文化会館

理事長 吉川佳子
(山口高等学校教諭)

放送部門は8月9日（土）10日（日）に伊勢崎市文化会館で実施されました。8日に伊勢崎市に着いて会場までタクシーに乗った（交通の便が悪いので）ところ、昼日中37度で覚悟した通りの暑さでした。

9日の初日は開会式とアナウンス部門の発表があり、アナウンス部門では徳山高校の戸崎安由美さんが運動会で3年男子全員で踊る証城寺の狸囃子について、宇部高校の竹内早紀さんは金子みすゞについて、山口農業高校の奥村文綾さんが狐の嫁入り行列について発表しました。

2日目は朗読部門と番組部門の発表がありました。朗読部門では光高校の窪田美穂子さんが山口県出身の作家である伊集院静作「苺の葉」熊毛南高校の石原綾香さんと山口高校の山本有希子さんが山口高校の卒業生である重松清の「くちぶえ番長」を朗読しました。ビデオメッセージ部門で徳山高校の「Pちゃんが行く！～笑顔のネットワーク～」は多忙な職務の間を縫っ

て、休日にピエロの格好をして人々に笑いを届けるという活動をしている人を取り上げたもので、地域の人々、家族の絆の中で活動を続ける人の姿を丁寧な取材で構成した作品です。オーディオピクチャー部門の宇部高校の「レクイエム」は第二次世界大戦中の長生炭坑の水没事故を題材にしたラジオドラマです。当時強制労働させられた多くの朝鮮人が犠牲になりました。この作品は見事、最高賞である優秀賞を受賞しました。

発声練習をする部屋で山口県の出場校はもちろん、広島県などNコンで優秀な成績を収めた他校の生徒と交流することもあり、よい刺激を受けました。

暑さの方は初日の夕方には涼しい風が吹き、立秋の気配が漂っていました。山口に帰って来たら夜9時過ぎでもムッとしており、かえって暑かったぐらいです。群馬のほうが一足先に秋になったようです。



将棋部門

会場：群馬県生涯学習センター

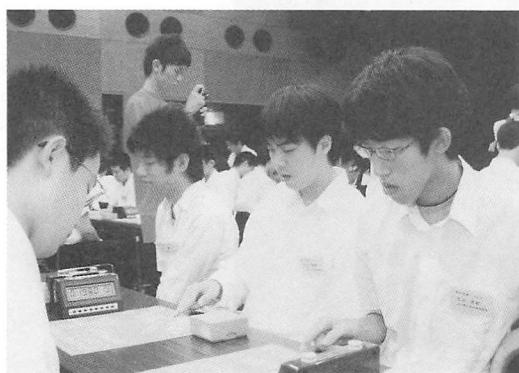
理事長 弘中 敏之
(徳山高等学校教諭)

第32回全国高等学校総合文化祭将棋部門の大
会は第44回全国高等学校将棋選手権大会を兼ね
て8月6日～7日に群馬県前橋市で開催されま
した。「上州に舞え創造の風」をテーマに全国
すべての都道府県から385名の若人が集いま
した。ゲリラ豪雨が連日のように関東地方各地を
襲い、当日も大雨の影響が心配され、受付に手
間取りましたが山口県の各代表の選手は用意万
端、無事開会式に臨みました。

予選は男女団体（山口県からは男子団体のみ）
個人共にスイス式とよばれる方法で4局戦いま
した。上位に入れば決勝トーナメントに進出で
きます。県予選で宇部高校を破り、上り調子の
防府高校男子団体チームはチャンスもありまし

たがチーム勝ち数2勝2敗となり惜しくも18位
でした。男子個人も宇部高校の香具君が持ち前の
粘り強い指し回しで健闘しましたが、やはり
2勝2敗となり21位でした。女子個人は2名が
出場し、宇部高校の藤上さんは1勝3敗で来年
に、捲土重来を期す結果となりましたが、防府
高校の伊原さんは実力を発揮し、3勝1敗で予
選を通過しました。決勝トーナメントでの上位
進出が期待されましたが、1回戦で京都代表の
宮崎さんに惜敗し32位にとどまりました。

来年の三重大会では、山口県からの女子団体
の参加も認められます。今後の一層の活躍が期
待されます。



文芸部門

会場：渋川市民会館

下関南高等学校

3年 萩原祐見子

●全体交流会 I

文芸部誌部門顧問青木敬士先生、散文部門顧問中沢けい先生、詩部門講師片岡直子先生、短歌部門講師三枝昂之先生、俳句部門講師正木ゆう子先生の5名をパネリストにお迎えして、生徒から寄せられた問題についての討議が行われました。

前もって集められた質問に対して先生方がアドバイスをするという形式で行われ、①よりよい作品を作るためのプロセス ②表現方法や言葉選び ③終わりのまとめ方 ④タイトルの付け方 ⑤お勧めの推敲方法の5つのテーマで各先生方のお話を伺いました。

●全体交流会 II

大会参加生徒の都道府県ゆかりの文学者を詠んだ「文学カルタ」を使った部門対抗の競技カルタが行われました。絵札は群馬県の高校生たちが描いたもので、会場である渋川市民会館に全ての絵が展示されていました。山口県からは金子みすゞを詠んだ『平易な詩 優しさあふれる みすゞかな』が収められています。このカルタは大会参加生徒全員に配られました。

●文学散歩

群馬県の文学ゆかりの地を回り参加者との交流を深めるためのものでしたが部門によって訪問場所は異なり、文芸誌部門は前橋文学館→山田かまち水彩デッサン美術館→少林山達磨寺の3つの施設を見学しました。

施設に滞在する時間が少なく移動時間が長かったのは残念ですが、他県の生徒と部誌を交換し



たり作品づくりについての話をする時間ができました。

●分科会

文芸誌部門は日本大学芸術学部講師の青木敬士先生と、群馬県の高校生の方々と一緒にInDesignというパソコンソフトを使って文芸誌を作りました。

総合文化祭のテーマである「風」を題材にした作品と写真を参加者がそれぞれデータにして持ち込み、プロの編集者が踏む手順と同じようにして誌面の構成を行いました。

製作時間が間に合わなかった時のために文化祭側に送っていたデータを使って先生方がまとめられた冊子も配布されましたが、参加者全員が時間内に自分のイメージする文章と写真の配置に仕上げることができ、個性豊かな素晴らしい一冊が完成しました。

●感想

昨年の島根県での総合文化祭に続き、2度も全国の文芸に関わる人々と交流を深めることができたのは本当に貴重な経験となりました。

島根では俳句部門での参加でしたが今回は文芸誌部門ということで慣れない作業ではありましたが、文芸部の作品を発表する大切な文芸誌をよりよくするため役立つ意見をたくさん得ることができました。

今年はちょうど私たちの部で最も厚い文芸誌を発行した直後だったため、作品の掲載順や文字のレイアウトなど、講師の先生のお話を聞いて「こうしておけばよかった」と思うところが何か所もありましたが、後輩たちが作る次の部誌を楽しみにしたいと思います。



山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧 No.1

数字は実施年度（62～63は昭和、1～20は平成）、※は今年度実施予定、（定）は定時制、（分）は分校

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート・デュオコンサート	胡弓打楽器・トランペット	尺八と琴・オペレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏 みん de リズム	管合奏 ソプラノ 電子オルガン	リコーダー・リュート
1	周防大島・安下庄	63					7	4,10	※			
2	久賀	63						3	10			
3	岩国									1		
4	岩国総合							11		1		
5	岩国商業			3					62,15			
6	岩国工業							2	6,8			
7	坂上			63	11			5	3			
8	広瀬		14	63				17	20		※	
9	高森							2				
10	柳井							7	11			
11	柳井商工							11,14	1,4,11,14			
12	熊毛南	63						6,17	12			19(分)
13	田布施農業						15(分)	3,18	5			18(分)
14	田布施工業							20	16			
15	光	63						8	17	定20		
16	光丘							8,11	14			
17	熊毛北							2,14	63,7			
18	下松	63			12	7	15					
19	華陵	63						8	1			
20	下松工業							1				
21	徳山		4(定)		10(定)	8(定)	15	12				
22	徳山北		63					4,11	8		※	
23	徳山商工		5	63					3,4,7	1		
24	鹿野		3		10			9	1,16			
25	新南陽	63							5,14			
26	南陽工業		1					62				
27	佐波			63		7						
28	防府											
29	防府西							10		1		
30	防府商業		63(定)					12	6	1		
31	山口		62(定),16(定)				15(定)	2				
32	山口中央	63	12		10	13						
33	西京	62						4	7			
34	山口農業							5※	3			
35	宇部	63										
36	宇部中央		1(定)				14(定)	10,19	63			
37	宇部西							14	10			
38	宇部商業			63				62,6	3			
39	宇部工業		13	2				8	※			
40	小野田		63(定)	19(定)								
41	小野田工業		63(定)						4			
42	厚狭			1				15※	9,18			
43	美祢	62			9			4	2		18	
44	大嶺		4							63,13,17,20		
45	青嶺・美祢工業							63	10			

ピアノ…………弘中孝
 マリンバ…………水野与旨久
 フルート…………西田直孝トリオ
 胡弓…………姜建華・楊寶元
 トランペット…………田宮堅二
 尺八と琴…………中村明一、八木美知依
 オペレッタ…………本木京子、ひとりオペラ
 交響楽団…………山口県交響楽団

演劇…………劇団のんた、宇部芸術座、劇団海峡座
 金管合奏…………東京金管五重奏団
 打楽器…………韓国の太鼓と踊り
 デュオコンサート…………三輪郁、菅沼ゆづき
 ソプラノ…………鶴木絵里
 リコーダー・リュート…………吉沢美、永田平八
 電子オルガン…………神田将
 みんな de リズム…………フランシス・シルヴァ

山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧 No.2

数字は実施年度（62～63は昭和、1～20は平成）、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート・ デュオコンサート	胡弓打楽器・ トランペット	尺八と琴・ オペレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏 de リズム	ソプラノ 電子オルガン	リコーダー・ リュート
46	田部							1,13	18,20			
47	西市							63				
48	豊浦											
49	長府									1		
50	下関西											
51	下関南											
52	下関中等教育								5			
53	下関中央工業							12	6			
54	下関工業	62							2			
55	響		5					1				
56	豊北	62						3	15			
57	日置農業	63	5			15	9	19	2,13			
58	大津	63						12	5			
59	水産							12				
60	萩	63						3	6			
61	萩商工	63						6,7,16	2,4,9,12,17			
62	徳佐			63(分)				63,10,20	13			
63	奈古		17(分)			11		1,9				
64	下関南総合支援	63	3			16	8,10	7	1			
65	山口南総合支援											
66	岩国総合支援		3,13			16			10,19			
67	田布施総合支援		6	17				62				
68	徳山総合支援		11	1								
69	周南総合支援		15	17						20		
70	防府総合支援	62	3	63	12			16				
71	山口総合支援			19				14				
72	宇部総合支援		63,5,14					1,9	18			
73	下関総合支援		2,6					16				
74	豊浦総合支援		11,16				13		19※			
75	萩総合支援		6									
76	下関商業				14(定)							
77	高水								62			
78	柳井学園		6						63			
79	聖光							2				
80	山口県桜ヶ丘											
81	誠英								7,9			
82	高川学園											
83	中村女子	63						2,5	11,16			
84	野田学園	63						18				
85	山口県鴻城							10	12,15			
86	宇部鴻城							7	9			
87	慶進											
88	成進											
89	宇部フロンティア香川							1,5,15	11,19			
90	サビエル											
91	早鞆											
92	下関短期大学付属	62,63	4				7		8			
93	長門							6				
94	萩光塩学院											

《自主事業》「フランシス・シルヴァとみんなdeリズム」

生徒の感想より

光高校定時制

○サンバのコンサートときいてどんなものかと想像していましたが、思ったより楽しかったです。ただ聴くだけでなく一緒にリズムをとるので体全体で楽しむことができました。

有り難うございました。これからもシルバさんがご活躍なさることを願っています。

○どんなものでも楽器にしているのに感心しました。音楽というとまずメロディーだと思っていましたが、リズムがいかに大きな役割を果たしているか実感できました。「ワンノートサン

バ」は知っている曲でしたが、この題が意味していることをはじめて知り、一つの音でも曲ができることに感心しました。有り難うございました。



《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

徳佐高等学校 長富 聖未

平成20年7月10日、山口県立徳佐高等学校の体育館に美しい音色が響き渡りました。

徳佐高等学校創立60周年記念行事として、山口県交響楽団の皆様に御来校いただき、記念演奏会を行っていただきました。山口県交響楽団の皆様には、徳佐高等学校創立40周年・50周年の記念行事にも参加していただいており、徳佐高等学校の節目の年にはこれまでにも演奏していただいている。

今回の記念演奏会は、徳佐高等学校の本・分校生や今年度から入学した山口高等学校徳佐分校生、教職員、保護者、同窓会関係者約140人が鑑賞しました。山口県交響楽団の皆様の奏でる表情豊かなハーモニーに心が震え、迫力ある演奏が心に残りました。交響楽団の皆様のすば

らしい生演奏で創立60周年を盛大に祝うことができ、鑑賞した全ての人にとって思い出深い1日となりました。



《自主事業》【巡回演劇公演】

◎ヘレンケラーを見て

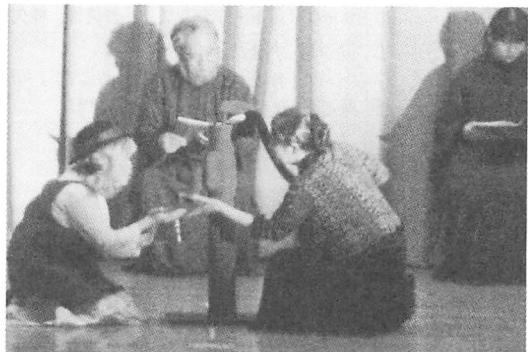
田部高校

私は今回、この「ヘレン・ケラー」の演劇を見るのをとても楽しみにしていました。名前を知っているだけで、その他のことは、ほとんど知らないヘレン・ケラーがなぜこんなにも有名なのかが気になったからです。

演劇が始まり、私は演出のしかたにおどろきました。まず「物知り博士」がヘレン・ケラーについて説明しました。この説明のおかげでヘレン・ケラーの物語りに入りこみやすくなったように感じ、こんな演出のやり方もあるんだな、と思い感心しました。

それから劇が終わるまでの間は、本当にあっというまでした。それほど楽しくそしてあきることのない劇でした。見ていて感動したところはいくつもありました、その中でも一番感動したところはやはりヘレンが言葉の意味を理解し、興味を持ち出したところです。私たちにとって「物には一つ一つ名前がある」ということは当たり前のことが、それを知ることのないヘレンに物には一つ一つ名前があるということを教えるのは、本当に大変な作業だったのではないかと思います。それを根気強く教え続けた家庭教師のサリバン先生を本当に尊敬し、そしてヘレンが言葉の意味を理解して一番喜んだのはやっぱりサリバン先生だったんだろうな、と思

劇団海峡座・公演



いました。

そしておどろいたのはヘレン・ケラーが三度も日本を訪れ、この下関にも滞在したということです。私はそれを聞き、なんだかヘレン・ケラーに親近感を抱きました。

ヘレン・ケラーが歩んできた道は、けっして楽ではなかったと思います、それでも自分と同じ障害を持っている人に勇気を与えたすばらしい人なんだと改めて感じました。

私はヘレン・ケラーとサリバン先生のすばらしい生き方を見習い、これからを生きていきたいと思いました。

《自主事業》「神田将 電子オルガンコンサート」



周南総合支援学校

6月18日 実施

補助事業「マルグリット・フランス、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート」

音楽鑑賞会の感想

徳山北高校

- ピアノ、バイオリン、トロンボーンの音が一つになる時がすごいよかった。「きれいだなあ。またもう一回でいいから聴きたいなあ。」という気持ちにさせられました。トロンボーンの「千の風になって」は泣きました。
- 知っている曲も知らない曲も、両方聴けて

本当によかったと思うし、バイオリンの演奏も聴けてエピソードも話してくれてとても楽しい鑑賞会だった。これからもあまり聴くことのできない曲ばかりだったけど、今日聴いてみて本当にきれいな音で「こんなきれいな音ができるんだなあ」と思った。ピアノも指先だけでなく体全体で弾いてとてもすごく迫力があるなと思った。

平成20年度 山口県高等学校文化連盟【事業報告】

月	日	事 業	会 場
4	10	会計監査	山口中央高校
	21	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
	30	マルグリット・フランス、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート(補助事業)	徳山北高校
5	9	高文連評議員会	山口市
	27 24~25	(社)全国高等学校文化連盟第1回通常総会 県高校総合文化祭(将棋部門)	東京: ホテルフロラシオン青山 防府市文化福祉会館
6		平成19年度集録「高文連」発行	
		平成19年度「高文連会報」発行	
	9	巡回演劇「劇団のんた」	広瀬高校
	12	県高校総合文化祭総合開会式	下関市民会館
	13~14	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	下関市民会館
	14	県高校総合文化祭(日本音楽・吟詠剣詩舞部門)	美祢市民会館
	18	神田 将 電子オルガンコンサート	周南総合支援学校
7	4	第18回中国地区高文連関係者合同会議	広島市: 宮島コラールホテル
	9	藤田卓也テノールコンサート(補助事業)	豊浦総合支援学校
	10	山口県交響楽団演奏会	徳佐高校
	14	藤田卓也テノールコンサート(補助事業)	下関工業高校
8	5~10	(社)全国高等学校文化連盟各専門部会	群馬県
	6~10	第32回全国高等学校総合文化祭	群馬県
	7	(社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	群馬県
	30~31	第19回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京: 国立劇場
9	18	巡回演劇「宇部芸術座」	大嶺高校
10	15	藤田卓也テノールコンサート(補助事業)	熊毛南高校
	25	県高校総合文化祭(文芸部門)	徳山商工高校
	25~26	県高校総合文化祭(演劇部門)	下関市民会館
	26	県高校総合文化祭(囲碁部門)	山口高校
11	7~9	県高校総合文化祭展示3部門(美術・工芸、書道、写真)	下関市立美術館
	8	県高校総合文化祭(放送部門)	ニューメディアプラザ山口
	8	巡回演劇「海峡座」	田部高校
	15	第10回高校生文芸道場中国大会	鳥取県立図書館・とりぎん文化会館
	18	フランス・シルヴァとみんなdeリズム	光高校(定時制)
	20	第1回高文連理事長会	山口中央高校
	21	山口県交響楽団演奏会	田布施工業高校
12	11	第20回全国高文連研究大会	奈良市
	12	全国高文連第2回通常総会 実務担当者会議	奈良市
		第10回高校生文芸道場総合大会	
1	29~31	第17回全国高文連将棋新人大会	岐阜市
2	3	第2回高文連理事長会	山口中央高校
	19	第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3	13	平成20年度中国地区高文連実務担当者会議	広島市: 広島県立生涯教育センター
	27	第28回器楽・管弦楽スプリングコンサート	防府市地域交流センターアスピラート

【その他】県高校総合文化祭準備(実行)委員会

総合開会式・音楽4部門発表会(長府高校)

展示3部門(下関中等教育学校)

日本音楽部門(大嶺高校)

演劇部門(下関中等教育学校)

囲碁部門(山口高校)

放送部門(山口高校)

将棋部門(徳山高校)

文芸部門(徳山商工高校)

※以上、主管校を中心開催

各専門部会………部会長校を中心に開催

各専門部研修会……県下各地において開催

平成20年度 山口県高等学校文化連盟会計【決算書】

(収入の部)

(単位：円)

区分	予算額	決算額	増減(減△)	摘要
繰越金	3,181,665	3,181,665	0	
会費	13,087,000	12,789,050	△ 297,950	
(内訳)	12,915,000 64,000 108,000	12,618,200 64,150 106,700	△ 296,800 150 △ 1,300	全日制 350円×36,052人 定時制・特別支援学校 50円×1,283人 学校負担金 100円×1,067学級
補助金	5,440,000	5,440,000	0	
(内訳)	954,000 4,486,000	954,000 4,486,000	0 0	県総文祭県補助金 全総文祭県補助金
調整基金から繰入	1,500,000	1,500,000	0	
雑収入	21,335	28,050	6,715	定期利息
合計	23,230,000	22,938,765	△ 291,235	

(支出の部)

区分	予算額	決算額	残額(超過△)	摘要
運営費	1,082,600	994,559	88,041	
(内訳)				
事務用品費	200,000	185,205	14,795	事務用品、写真、事務機器維持
通信費	350,000	279,154	70,846	電話、郵便、運送料等、傷害保険料
分担金	532,600	530,200	2,400	全国高文連・山口県文連会費、賛助会費 中国地区分担金
会議費	1,460,000	1,670,914	△ 210,914	全国会議114万、研究大会11万、県内会議39.6万 会議用お茶1.4万、参加費1万
事業費	20,255,000	17,895,653	2,359,347	
(内訳)				
県総文祭	7,680,000	6,783,660	896,340	総合開会式、各部門大会開催費
全総文祭	8,060,000	6,960,863	1,099,137	生徒旅費442万、引率旅費158万、運送費96万
自主事業	2,094,000	2,070,000	24,000	7公演154万、補助事業4公演53万
大会補助金	50,000	50,000	0	特別支援学校文化祭
専門部会費	1,791,000	1,666,780	124,220	研修費、各部門通信費、全国高文連分担金
印刷費	580,000	364,350	215,650	県総文ボスター、高文連集録、会報
調整基金	0	0	0	
予備費	432,400	78,750	353,650	高文連旗、中高文連交流事業、電話配線整理
合計	23,230,000	20,639,876	2,590,124	

(収入) 22,938,765 - (支出) 20,639,876 = (繰越) 2,298,889

平成20年度 調整基金会計決算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計へ繰出し	今年度末残高
12,000,000	1,500,000	10,500,000

上記の通り相違ありません
平成21年4月14日

監事

監事

豊岡芳和
三吉英太

平成21年度 山口県高等学校文化連盟【事業計画】

月	日	事 業	会 場
4	14	会計監査 平成20年度「高文連会報」発行	山口中央高校
	23	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	8	高文連評議員会 平成20年度集録「高文連」発行	山口市
	23~24	県高校総合文化祭（将棋部門）	防府市文化福祉会館
	26	(社)全国高等学校文化連盟第1回通常総会（地区代表者会議）	東京：ホテルフロラシオン青山
6	18	神田 将 電子オルガンコンサート	徳山北高校
	18	神田 将 電子オルガンコンサート	広瀬高校
	18	県高校総合文化祭総合開会式	萩市民会館
	19~20	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	萩市民会館
	20	県高校総合文化祭（日本音楽・吟詠剣詩舞部門）	防府市公会堂
7	3	第19回中国地区高文連関係者合同会議	山口市：翠山荘
	7	マルグリット・フランス、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート（補助事業）	慶進高校
	8	マルグリット・フランス、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート（補助事業）	光高校
	14	山口県交響楽団演奏会	厚狭高校
	28~2	(社)全国高等学校文化連盟各専門部会	三重県
	29~2	第32回全国高等学校総合文化祭	三重県
	30	(社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	三重県：津市
8	29~30	第20回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場
9	18	巡回演劇「劇団海峡座」	豊浦総合支援学校
	25~27	県高校総合文化祭展示3部門（美術・工芸・書道、写真）	シンフォニア岩国
10	5	巡回演劇「劇団のんた」	周防大島高校
	16	巡回演劇「宇部芸術座」	宇部工業高校
	23	山口県交響楽団演奏会	山口農業高校
	24	県高校総合文化祭（文芸部門）	徳山商工高校
	24~25	県高等学校総合文化祭（演劇部門）	宇部市渡辺翁記念会館
	25	県高校総合文化祭（囲碁部門）	山口高校
11	7	県高校総合文化祭（放送部門）	ニューメディアプラザ山口
	15	第11回高校生文芸道場中国大会	広島市
		第1回高文連理事長会	山口中央高校
12	10	第21回全国高文連研究大会	別府市
	11	全国高文連第2回通常総会 実務担当者会議	別府市
	19	第10回高校生文芸道場総合大会	国立オリンピック記念青少年総合センター
1	28~30	第18回全国高文連将棋新人大会	山口市
2		第2回高文連理事長会	山口中央高校
		第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3		平成21年度中国地区高文連実務担当者会議	山口県内
	26	第29回器楽・管弦楽スプリングコンサート	サンビームやない

【その他】県高校総合文化祭準備（実行）委員会

総合開会式・音楽4部門発表会（萩高校）
 展示3部門（岩国高校）
 日本音楽（防府高校）
 演劇部門（サビエル高校）
 囲碁部門（山口高校）
 放送部門（岩国高校）
 将棋部門（徳山高校）
 文芸部門（徳山商工高校）
 ※以上、主管校を中心に開催予定

各専門部会………部会長校を中心に関催予定
 各専門部研修会…県下各地において開催予定

平成21年度 山口県高等学校文化連盟会計【予算書】

(収入の部)

(単位：円)

区分	予算額	前年度予算額	増減(減△)	摘要
繰 越 金	2,298,889	3,181,665	△ 882,776	
会 費	12,672,000	13,087,000	△ 415,000	
(内訳)	12,502,000 64,000 106,000	12,915,000 64,000 108,000	△ 413,000 0 △ 2,000	全日制 350円×35,720人 定時制・特別支援学校 50円×1,280人 学校負担金 100円×1,060学級
補 助 金	4,122,000	5,440,000	△ 1,318,000	
(内訳)	811,000 3,311,000	954,000 4,486,000	△ 143,000 △ 1,175,000	県総文祭県補助金 全総文祭県補助金
調整基金から繰入	700,000	1,500,000	△ 800,000	
雑 収 入	26,111	21,335	4,776	定期利息
合 計	19,819,000	23,230,000	△ 3,411,000	

(支出の部)

区分	予算額	前年度予算額	増減(減△)	摘要
運 営 費	1,110,200	1,082,600	27,600	
(内訳)				
事務用品費	250,000	200,000	50,000	事務用品、写真、事務機器維持費
通 信 費	330,000	350,000	△ 20,000	電話、郵便、運送料等、傷害保険料2.5万
分 担 金	530,200	532,600	△ 2,400	全国高文連会費、贊助会費、中国高文連分担金、山口県文連会費
会 議 費	1,540,000	1,460,000	80,000	全国会議100万、研究大会6万、県内会議45万 会議用お茶2万、参加費1万
事 業 費	15,589,000	20,255,000	△ 4,666,000	
(内訳)				
県 総 文 祭	6,627,000	7,680,000	△ 1,053,000	総合開会式、各部門大会開催費
全 総 文 祭	4,600,000	8,060,000	△ 3,460,000	生徒旅費213万、引率旅費187万、運送費60万
自 主 事 業	1,802,000	2,094,000	△ 292,000	7公演154万、補助事業2公演26万
大 会 补 助 金	350,000	50,000	300,000	特別支援学校文化祭5万、将棋全国新人大会30万
専 門 部 会 費	1,730,000	1,791,000	△ 61,000	研修費144.4万、各部門通信費・全国分担金28.6万
印 刷 費	430,000	580,000	△ 150,000	集録23万、会報8万、県総文ポスター7万、賞状5万
中 高 連 携 費	50,0000	0	50,000	中高文連交流事業
調 整 基 金	0	0	0	
予 備 費	1,579,800	432,400	1,147,400	
合 計	19,819,000	23,230,000	△ 3,411,000	

平成21年度 調整基金会计予算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計へ繰出し	今年度末残高
10,500,000	700,000	9,800,000

山口県高等学校文化連盟規約

昭和62年4月1日制定
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成21年4月1日改正

第 1 章 総 則

(名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトン・ワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸の各部門とする。

第 2 章 役 員

(役 員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- | | |
|-------------------|----------------|
| (1) 会長 1人 | (5) 専門部会長 14人 |
| (2) 副会長 若干人 | (6) 専門部理事長 14人 |
| (3) 評議員 各加盟校ごとに1人 | (7) 監事 2人 |
| (4) 支部長 7人 | (8) 参与 若干人 |

(役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。

- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校に在職する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第 3 章 会 議

(会 議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会 (2) 企画運営委員会 (3) 理事長会
- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項 (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項 (2) 会務の運営及び執行に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
- 3 委員会は、事業を主管する校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
- 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項 (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第 4 章 会 計

(経 費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の分担金、県内の高等学校等の生徒の会費、補助金、

寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 5 章 事 務 局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運 営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 6 章 雜 則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会計規程]

昭和62年4月1日制定
平成4年4月1日改正
平成5年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成20年4月1日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、会費を納入するものとする。

〈会費内訳〉各高等学校生徒一人当たり1年に(全日制生徒) 350円

(定時制、特別支援学校高等部生徒) 50円

各学校負担金(定時制、特別支援学校は除く) 学級数×100円

第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事務局規程]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長
- (2) 事務局員 ア 総務係
イ 庶務係
ウ 会計係

第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。

第4条 事務局員総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書・調査研究に関する事項を分掌する。

第5条 事務局員庶務係は、事務局長の命を受け、庶務に関する事項を分掌する。

第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。

第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。

第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。

第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

山口県高等学校文化連盟表彰規程

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成18年4月1日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

- (1) 文化功労賞
- (2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの。

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数200名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

- (1) 人格、識見共に優秀と認める者。
- (2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、14部門において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、14部門において、全国大会等で優秀賞を授与され、且つ、長年にわたり部の指導に当たってきた者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月1日改正
平成元年4月1日改正
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正

第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。

第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費は、引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。生徒は〔交通費実費（学割・団体割引）+宿泊費（大会規定料金）×2泊〕×1/3とする。

※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

第4条 専門部会長及び支部長が、県高等学校総合文化祭運営協議会（顧問会議、支部会議等）を開催する場合は、出席者の在籍する各学校でこれを負担するものとする。

[調整基金細則]

第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。

第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。

第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。

第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の議決によりこれを処分することができる。

附 則

1. この細則は、平成20年4月1日から施行する。

2. この細則は施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

平成20年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名	氏名	支部・専門部	所属校
会長	八幡フミエ		山口中央高校
副会長	上田一人		岩国高校
"	木村峰		下関西高校
"	内田晃		柳井学園高校
参与	中島俊泰		防府高校
支部長	上田一郎	岩国支部	岩国高校
"	竹橋芳	柳井支部	柳井高校
"	橋本章	山德支部	山德高校
"	八田山	山防支部	山口中央高校
"	藤原宇	宇防支部	宇部高
"	永康	下関支部	下関中等教育学校
"	吉富	北長支部	萩高
専門部会長	伊藤薰	演劇部	商業高校
"	江原健二	器楽・管弦楽部	下関商高
"	藤嶋敏	合唱部	南高
"	島中俊	吹奏楽部	中央高
"	佐藤知	マーチングバンド・バトントワリング部	防山高
"	吉野紀	日本音楽部	鴻城高
"	(休部)	吟詠部	誠英(休部)
"	伊藤薰	劍道部	下関商業高
"	長谷川信	美術部	高
"	唐松良	書写部	長光高
"	吉松生	囲碁部	口高
"	吉松茂	放送部	高
"	橋松茂	将棋部	山高
"	橋伊健	文芸部	山德高
専門部理事長	金森健一	演劇部	商業高校
"	飯田幸生	器楽・管弦楽部	下関商高
"	三角好五郎	合唱部	南高
"	繩橋中悦	吹奏楽部	中央高
"	(休部)	マーチングバンド・バトントワリング部	防山高
"	宮古龍	日本音楽部	鴻城高
"	古佃次子	吟詠部	誠英(休部)
"	佃富貴	美術部	下関商業高
"	吉山智	書写部	高
"	弘中敏	囲碁部	長光高
"	國嶋洋	放送部	口高
"	國治	将棋部	山高
監事	山本信夫		防府商業高
"	豊岡芳和		西京高
事務局長	西村正浩		山口中央高校
総務務務	柴崎正比		山口中央高校
庶会計	新竹伸芳		山口中央高校
	豊川真利子		山口中央高校

平成21年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名	氏名		支部・専門部						所属校					
会長	八幡	フミエ							山口	中央	高	校	校	校
副会長	上木	ミエ	人	康	暉							岩国	高	校
〃	木内	一峰	田	田	田							下柳	西園	校
参与	田邊	恒美							山口	高	校	校	校	校
支部長	上竹	田一	人朗	章	人	支	支	支	岩国	高	校	校	校	校
〃	橋	芳	柳	徳山	井山	支	支	支	柳	高	校	校	校	校
〃	八時	本田	幡工	善	宇	防	支	支	井	高	校	校	校	校
〃	木	村	高	峰	下	宇	支	支	山	中	高	校	校	校
〃	吉	村	吉	康	長	北	支	支	北	央	高	校	校	校
専門部会長	木中	村嶋	静幸	男子	彦	樂	劇	部	門	門	業	高	校	校
〃	牛菊	見地	正	彥	昇	・管	樂	部	門	門	商	高	校	校
〃	佐	藤嶋	知	知	紀	弦	樂	部	門	門	南	高	校	校
〃	中	(休)	木鞠	幸	部	吹	唱	部	門	門	園	高	校	校
〃	木	村川	唐田	二生	道	奏	樂	部	門	門	田	高	校	校
〃	鞠	松邊	良恒	美	真	音	舞	部	門	門	高	校	校	校
〃	唐	田上	一健	人	暮	樂	詩	部	門	門	城	高	校	校
〃	田	橋伊	章司	草	送	・工	舞	部	門	門	高	校	校	校
〃	藤			文	棋	劍	芸	部	門	門	業	高	校	校
専門部理事長	金森	健幸	一生	睦	智	樂	劇	部	門	門	商	高	校	校
〃	飯田	中道	博道	資	孝	・管	樂	部	門	門	南	高	校	校
〃	志繩	田川	眞知	道	真	弦	樂	部	門	門	園	高	校	校
〃	好	(休)	宮	宮	龍	吹	唱	部	門	門	田	高	校	校
〃			崎	崎	美	奏	樂	部	門	門	高	校	校	校
〃			富	山	智	音	舞	部	門	門	城	高	校	校
〃			小	倉	貴	・詩	芸	部	門	門	高	校	校	校
〃			弘	中	誠	工	舞	部	門	門	業	高	校	校
〃			國	嶋	敏	劍	芸	部	門	門	商	高	校	校
監事	三豊	吉岡	英芳	太和							防府	商業	高	校
〃											西京	高	校	校
事務局長	西大	村田	正浩	浩子	太和							山口	中央	高
庶務	新柴	竹崎	和伸	芳古	比							山口	中央	高
〃	境谷	崎公	正比	古美	美							山口	中央	高
会計												山口	中央	高

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定
向川栄美作詞
乗松美紀作曲

The musical score consists of four staves of music in common time, key signature of one flat. The lyrics are written below each staff.

1. てをのばせばほら きっとだれかがささえてくれる
2. よびかければほら きっとだれかがこたえてくれる

みーわたせ一ぱ ほらなかまがいつでもそばにいる きみ
こころをひらけば ほらなかまがいつでもまっている きみ

はひとりじゃない さある きだそう
はひとりじゃない さあは ばたこう

ほくらのぶんかを つくるため一に
ほくらのぶんかを きずくため一に

二、呼びかけばほら きっと誰かが応えてくれる
心を開けばほら 仲間はいつも待っている
君は一人じゃない さあ歩きだそう
僕等の文化を創るために

一、手を伸ばせばほら きっと誰かが支えてくれる
仲間がいつでもそばにいる
見渡せばほら
君は一人じゃない
さあ歩きだそう
僕等の文化を創るために

僕等の文化を築くために

全国高文連の歌

山口県高等学校文化連盟
「高文連」編集委員

(各 部 門)

合唱	三好五郎	(県立宇部中央高等学校)
マーチングバンド バトン・ワーリング	繩田道孝	(山口県鴻城高等学校)
器楽・管弦楽	飯田幸生	(県立下関南高等学校)
吹奏楽	角中悦太郎	(県立防府高等学校)
演劇	金森健一	(下関商業高等学校)
日本音楽	橋口三恵子	(誠英高等学校)
美術・工芸	宮崎龍次	(下関商業高等学校)
書道	古屋美智子	(県立長府高等学校)
写真	佃幸憲	(県立光高等学校)
囲碁	富山貴之	(県立山口高等学校)
将棋	弘中敏之	(県立徳山高等学校)
放送	吉川佳子	(県立山口高等学校)
文芸	國嶋洋治	(県立徳山商工高等学校)

事務局長	西村正浩	(県立山口中央高等学校)
総務	柴崎正比古	(")
庶務	新竹伸芳	(")
会計	豊川眞利子	(")

高文連

平成20年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高文連」

表紙デザイン／ 宮川理絵
(山口中央高校3年)

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電話 083-932-0818
FAX 083-932-0813

